

都001	項目名	鳥取自動車道建設関係事業費(地域の元気臨時交付金活用事業費)
------	-----	--------------------------------

主要な施策	鳥取自動車道建設関係事業費	ページ	40	所属名
-------	---------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	土木管理費
目	土木総務費

(単位:千円)	
当初予算額	68,000

補正予算額	△ 11,628
-------	----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	56,372
-------	--------

本年度決算額	55,927
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	44,870
地方債	0
その他	0
一般財源	11,057
計	55,927

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P212 (都012)

【事業の概要】  
 平成25年3月に全線開通した鳥取自動車道の沿線である大和地区の地域の活性化、住民の健康づくりを目的に多目的広場の整備を行った。

【事業の成果】  
 大和地区多目的広場を整備することにより、地域住民の憩いの場、ランドゴルフ等による他地区との交流の場として幅広い利用につながる拠点となった。

【今後の課題・方向性】  
 大和地区の高齢化が進み、地元が維持管理を行うことが困難とならないよう、若年層の定住促進を図ることが必要である。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	大和地区多目的広場の整備が完了したため、事業を終了する。
------	------------------------------

都市整備部  
都市企画課

都002	項目名	鳥取自動車道利用促進事業費
------	-----	---------------

主要な施策	鳥取自動車道利用促進事業費	ページ	40
-------	---------------	-----	----

所属名	都市整備部 都市企画課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	一般会計
款	土木費
項	土木管理費
目	土木総務費

(単位:千円)	
当初予算額	6,859

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	6,859
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,584
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	1,500
	その他	0
	一般財源	84
計	1,584	

【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P213（都013）

【事業の概要】  
 鳥取自動車道は、平成25年3月に全線開通となり、無料の自動車専用道路という特性を活かした地域活性化と新たな観光客の増加が期待されている。一方で、鳥取自動車道沿線自治体にある観光地などの案内・誘導看板が少ないことから、利用者の利便性向上のために鳥取自動車道から観光地までの案内が求められていた。

【事業の成果】  
 鳥取自動車道を利用される方を目的地までわかりやすく誘導し、沿線地域への立ち寄りを促し地域の活性化や利用者の利便性を高めるため、案内標示板を設置（10か所）した。

【今後の課題・方向性】  
 鳥取自動車道沿線地域の更なる活性化に向け、観光資源の発掘や観光情報の広域発信等、集客施策を検討する必要がある。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	数年にわたり案内標示板設置を計画していた箇所について、今後、道路管理者が設置することになったため、25年度で事業を終了する。
------	--

都003	項目名	高速道路開通記念事業費
------	-----	-------------

主要な施策	高速道路開通記念事業費	ページ	40
-------	-------------	-----	----

所属名	都市整備部 都市企画課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	土木費
項	土木管理費
目	土木総務費

【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 8月補正予算・P26（都001）

【事業の概要】  
 平成25年度に山陰近畿自動車道の1区間である駈馳山バイパス（L=6.6km）、鳥取西道路《鳥取IC～鳥取空港IC（仮称）L=1.8km》が部分開通することにあわせ、開通記念式典・記念イベントを実施する。

【事業の成果】  
 駈馳山バイパス・鳥取西道路の部分開通に伴い、開通式・プレイベントを主催し、沿線住民の利用促進や全線開通へ向けた早期完成の機運醸成を図ることができた。

【今後の課題・方向性】  
 鳥取西道路・山陰近畿自動車道の早期全線開通に向け、関係機関連携のうえ、引き続き要望活動等を実施する。

(単位:千円)	当初予算額	0
---------	-------	---

補正予算額	1,300
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,300
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,294
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,294
	計	1,294

(参考)	前年度決算額	0
------	--------	---

評価結果	平成29年度中に鳥取西道路(吉岡温泉IC(仮称)～青谷IC)間が開通予定であり、その時期まで開通記念事業・記念イベントは実施しない。
------	--

都004	項目名	道路新設改良県営事業負担金
------	-----	---------------

主要な施策	県営事業負担金	ページ	41	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	土木費
項	道路橋梁費
目	道路新設改良費

(単位:千円)	
当初予算額	6,675

補正予算額	3,230
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	9,905
-------	-------

本年度決算額	5,943
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	5,300
その他	0
一般財源	643
計	5,943

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P213（都014）

【事業の概要】  
 便利で快適な交通基盤の整備を行うため、県が実施する市域の県道整備事業に要する経費の一部を負担することにより、幹線道路の整備を促進し、市内各地や高速道路とのアクセス向上を図る。なお、道路新設改良県営事業に要する市町村負担額は鳥取県が定めている。

【事業の成果】  
 一般県道高路古海線ほか9路線

平成23年度 5,213千円  
 平成24年度 2,404千円  
 平成25年度 5,943千円  
 （翌年度繰越額 3,046千円）

【今後の課題・方向性】  
 平成26年度以降については、市町村負担金を廃止。

(参考)	
前年度決算額	2,404

評価結果	平成26年度以降については、市町村負担金を廃止。
------	--------------------------

都市整備部  
都市企画課

都005	項目名	急傾斜地崩壊対策県営事業負担金
------	-----	-----------------

主要な施策	急傾斜地崩壊対策県営事業負担金	ページ	41
-------	-----------------	-----	----

所属名	都市整備部 都市企画課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	土木費
項	河川費
目	河川総務費

(単位:千円)	
当初予算額	78,010

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	78,010
-------	--------

本年度決算額	29,616
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	28,200
その他	0
一般財源	1,416
計	29,616

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P214(都015)</p> <p>【事業の概要】 災害に強いまちづくりを進めるため、県が実施する急傾斜崩壊対策事業に要する経費の一部を市負担することにより、急傾斜地崩壊対策事業の促進を図り、災害に強いまちづくりを推進する。なお、急傾斜地崩壊対策事業に要する市町村負担額は鳥取県が定めている。</p> <p>【事業成果】 鳥取市気高町勝見ほか17か所</p> <p>平成23年度 30,929千円 平成24年度 36,715千円 平成25年度 29,616千円 (翌年度繰越額 22,505千円)</p> <p>【今後の課題・方向性】 県営事業の着実な事業促進を図るとともに、市町村負担金の廃止・縮小について県と継続して協議を行う。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	36,715

評価結果	県事業の負担金のあり方について関係機関と協議を行う。
------	----------------------------

都006	項目名	港湾改修県営事業負担金
------	-----	-------------

主要な施策	県営事業負担金	ページ	41
-------	---------	-----	----

所属名	都市整備部 都市企画課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	港湾費
目	港湾総務費

【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P214（都016）

【事業の概要】  
 物流の国際化を図るため、県が実施する港湾改修事業に要する経費の一部を市が負担することにより、重要港湾鳥取港の整備を促進し、物流事業や水産業の振興を図る。なお、港湾改修県営事業に要する市町村負担金は鳥取県が定めている。

【事業の成果】  
 鳥取港第3防波堤改良  
 鳥取港第3防波堤撤去

平成23年度 5,249千円  
 平成24年度 7,122千円  
 平成25年度 11,418千円  
 （翌年度繰越額 4,557千円）

【今後の課題・方向性】  
 県営事業の着実な事業促進を図るとともに、市町村負担金の廃止・縮小について県と継続して協議を行う。

(単位:千円)

当初予算額	20,250
補正予算額	△ 4,275

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	15,975
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	11,418
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	10,200
	その他	0
	一般財源	1,218
計	11,418	

(参考)

前年度決算額	7,122
--------	-------

評価結果	県事業の負担金のあり方について関係機関と協議を行う。
------	----------------------------

都007	項目名	都市計画策定費
------	-----	---------

主要な施策	都市計画策定費	ページ	41
-------	---------	-----	----

所属名	都市整備部 都市企画課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	土木費
項	都市計画費
目	都市計画総務費

【問合せ先】都市計画係 0857-20-3272

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P215（都018）

【事業の概要】  
 都市計画の区域区分（市街化区域、市街化調整区域）や用途地域（商業地域や工業専用地域など）の見直しは、概ね5年ごとに行なう都市計画の基礎調査などにに基づき行なっている。  
 都市全体の都市機能の配置及び密度構成に配慮しながら、新たな市街地像に対応した区域区分や用途地域に変更することで、健全な都市構造や良好な市街地の形成を図る。

【事業の成果】

- 1 都市計画基礎調査業務
- 2 都市計画道路の見直し  
 （都市計画道路の廃止候補路線選定→地元説明 2路線3地区）
- 3 区域区分の見直し（地元説明 3地区）

平成24年度 3,610千円  
 平成25年度 58千円  
 （翌年度繰越額 2,052千円）

【今後の課題・方向性】  
 鳥取市内には、工業専用地域などを中心に低未利用地が散在していることから、周辺地域の土地の開発動向等をみながら、土地の有効利用が図られるよう、必要な対策を実施する必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	2,066
補正予算額	57
予算流・充用額	0

最終予算額	2,123
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	9
その他	0

本年度決算額	58
--------	----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	9
一般財源	49
計	58

(参考)

前年度決算額	3,610
--------	-------

**評価結果**  
 土地利用の現状と課題、今後の土地利用動向などを的確に把握し、適正な区域区分や用途地域の見直しを行う。  
 鳥取市都市計画マスタープランについて、策定から10年近くが経過し、策定後の社会情勢の変化や、新たな法制度などへの対応のため、見直しが必要な時期となっている。

都008	項目名	景観形成推進費
------	-----	---------

主要な施策	景観形成策定費	ページ	41
-------	---------	-----	----

所属名	都市整備部 都市企画課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	土木費
項	都市計画費
目	都市計画総務費

(単位:千円)	
当初予算額	2,900

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,900
-------	-------

本年度決算額	2,854
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	2,854
計	2,854

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】景観形成係 0857-20-3271</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P216（都019）</p> <p>【事業の概要】 平成25年度開催される「全国都市緑化とっとりフェア」は湖山池公園を主会場に行われるが、市街地を中心に魅力あるまちづくりに繋がる場所を「まちなかスポット」として位置づけ緑化推進を目指している。 まちなかスポットとしては、鳥取駅、主要観光地及び観光拠点があげられている。 このため、会場からの観光地となる賀露港へ向かう市道、及び市街地の観光スポットとなる城跡観光地及び鳥取駅、並びにそれを結ぶ地点に位置する袋川について管理レベルを上げ、緑化フェアにふさわしい街路樹管理を図る。</p> <p>【事業の成果】 緑化フェア開催に伴い、特に重点的に街路樹を管理すべき路線について、「鳥取県公共施設緑化マニュアル」に基づき剪定・除草回数を増やすことにより、本市の良好な景観形成・観光の向上とフェア開催の高揚を図ることができた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 市民に街路樹の価値を認識していただく取り組みや、市民との協働を積極的に打ち出す。</p>
---

(参考)	
前年度決算額	2,810

評価結果	引き続き事業の推進を図る。
------	---------------

都009	項目名	街なみ環境助成費
------	-----	----------

主要な施策	街なみ環境整備事業費	ページ	41	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	都市計画費
目	都市計画総務費

(単位:千円)	
当初予算額	2,000

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,000
-------	-------

本年度決算額	1,000
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	500
地方債	0
その他	0
一般財源	500
計	1,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】 景観形成係 0857-20-3271

【9次総の施策体系】 4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P216 (都020)

【事業の概要】  
 街なみ整備補助金  
 鹿野地域街なみ環境整備促進区域内で、鹿野らしさに配慮し、街なみ景観向上に寄与した住宅等の整備改善に補助金を交付する。上限1,000千円

【事業の成果】  
 城下町の歴史的特性を活かした街なみ整備により、住民の定住化促進、観光振興による地域活性化並びに地域文化の継承を図ることができた。

平成23年度 0千円 (0件)  
 平成24年度 1,328千円 (2件)  
 平成25年度 1,000千円 (1件)

【今後の課題・方向性】  
 住民への制度説明を再度徹底し、事業の推進を図ることが必要である。

(参考)	
前年度決算額	1,328

評価結果	引き続き事業の推進を図る。
------	---------------

都市整備部  
都市企画課

都010	項目名	都市再生整備事業費(用瀬地区)
------	-----	-----------------

主要な施策	都市再生整備事業費	ページ	41
-------	-----------	-----	----

所属名	都市整備部 都市企画課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	土木費
項	都市計画費
目	都市計画総務費

【問合せ先】都市計画係 0857-20-3272

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P217(都021)、8月補正予算・P26(都002)  
 12月補正予算・P39(都002)

【事業の概要】  
 地域生活拠点を再生していくため、平成21年度より、住民等との協働によるワークショップ形式での検討を踏まえ、平成22年度に「都市再生整備計画(用瀬地区)」を策定した。本計画では、人に優しい道路整備や景観形成、定住対策などに取組むこととしている。

【事業の成果】  
 1 市道用瀬駅横断線整備事業に伴う測量設計業務  
 2 防犯灯設置事業に伴う測量設計業務

平成23年度 468千円  
 平成24年度 3,770千円  
 平成25年度 10,045千円  
 (翌年度繰越額 108,585千円)

【今後の課題・方向性】  
 平成26年度は用瀬地区における都市再生整備計画事業の最終年度となるが、市道用瀬駅横断線や駅前広場の整備により用瀬駅の交通結節点機能の強化を行うとともに、瀬戸川沿い市道の景観整備事業を実施する。

(単位:千円)

当初予算額	75,200
補正予算額	43,462
予算流・充用額	0

最終予算額	118,662
-------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	10,045
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	4,714
地方債	5,200
その他	0
一般財源	131
計	10,045

(参考)

前年度決算額	3,770
--------	-------

評価結果	多極型コンパクトシティの先導事業として、着実に事業を推進する。
------	---------------------------------

都011	項目名	県営街路事業負担金
------	-----	-----------

主要な施策	県営事業負担金	ページ	41	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	都市計画費
目	街路事業費

(単位:千円)	
当初予算額	33,168

補正予算額	40,131
-------	--------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	73,299
-------	--------

本年度決算額	14,948
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	12,400
	その他	0
	一般財源	2,548
計	14,948	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P217（都022）、8月補正予算・P27（都003）

【事業の概要】  
 県が実施する市域内の県営街路事業に要する経費の一部を負担することにより、幹線道路の整備を促進し、交通渋滞の緩和、利便性の確保を図る。なお、県営街路事業に要する市町村負担金は鳥取県が定めている。

【事業の成果】  
 美萩野覚寺線ほか6路線

平成23年度	38,242千円
平成24年度	33,249千円
平成25年度	14,948千円
(翌年度繰越額 58,349千円)	

【今後の課題・方向性】  
 県営事業の着実な事業促進を図るとともに、市町村負担金の廃止・縮小について県と継続して協議を行う。

(参考)	
前年度決算額	33,249

評価結果	県事業の負担金のあり方について関係機関と協議を行う。
------	----------------------------

都市整備部  
都市企画課

都012	項目名	全国都市緑化フェア関連事業支援補助金
------	-----	--------------------

主要な施策	全国都市緑化フェア開催事業費	ページ	41
-------	----------------	-----	----

所属名	都市整備部 都市企画課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	一般会計
款	土木費
項	都市計画費
目	都市公園整備費

(単位:千円)	
当初予算額	1,000

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,000
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,000
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,000
	計	1,000

【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P218(都023)

【事業の概要】  
 平成25年度に開催された全国都市緑化とっとりフェアの開催機運の向上を図るため、同フェアと連携した緑化推進のイベント等の開催経費を助成する。

【事業の成果】  
 2件の事業支援を通じ、市民の緑化意識の向上と同フェアの機運醸成を図り、本市の総合的な都市緑化の推進を図ることができた。

【今後の課題・方向性】  
 緑花フェアの開催機運の醸成・PRが主眼のため、本補助制度は廃止する。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	緑花フェアの開催機運の醸成・PRが主眼のため、本補助制度は廃止する。
------	------------------------------------

都013	項目名	若桜鉄道利用促進実行委員会負担金
------	-----	------------------

主要な施策	運輸交通関係負担金等	ページ	25	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	2,000

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,000
-------	-------

本年度決算額	2,000
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	2,000
計		2,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257  
【9次総の施策体系】4202  
【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P207(都001)  
【事業の概要】  
 若桜鉄道の利用促進を通じて、沿線の産業経済の発展と住民生活の向上に資することを目的とし、平成9年6月2日に若桜鉄道利用促進実行委員会が設立された。  
 鳥取県、鳥取市、八頭町、若桜町及び若桜鉄道(株)により構成。  
 また、若桜鉄道は、平成21年4月1日から八頭、若桜両町が線路などの鉄道施設を保有し、若桜鉄道(株)が運行を担う上下分離方式に移行した。  
 鳥取市は、観光客誘致を含めた利用促進事業に対して引き続き支援していく。  
【事業の成果】  
 利用促進事業  
 ・シルバー回数券等への助成  
 ・若桜鉄道ホームページの維持管理  
 ・ミニ時刻表の作成  
 観光振興事業  
 ・鉄道記念日イベントの開催  
 ・若桜鉄道沿線活性化事業への助成  
 ・オリジナルグッズの作成  
 ・鉄道記念日のイベント  
 ・観光パンフレットの作成  
 ・新聞広告掲載による利用促進と観光PR  
 負担金 鳥取市：2,000,000円  
【今後の課題・方向性】  
 少子高齢化による通勤通学客の減少等厳しい経営環境にあるため、観光客誘致を含めた利用促進事業に引き続き支援していく。

(参考)	
前年度決算額	2,000

評価結果	少子高齢化による通勤通学客の減少等厳しい経営環境にあるため、観光客誘致を含めた利用促進事業に引き続き支援していく。
------	---

都市整備部  
交通政策課

都014	項目名	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会負担金
------	-----	---------------------

主要な施策	運輸交通関係負担金等	ページ	25	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	1,000

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,000
-------	-------

本年度決算額	1,000
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,000
計	1,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257  
【9次総の施策体系】4202  
【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P207(都002)  
【事業の概要】  
平成21年8月の余部橋梁の架け替えにより、安全性・定時性が確保されたところである。また、平成22年10月4日、山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークへの正式加盟を実現した。今後は、山陰海岸ジオパークを結ぶ交通網の整備が急がれるところである。  
山陰本線(鳥取駅以東)の利便性向上について、JRに対して本市が積極的な要望活動を展開した結果、鳥取発浜坂止まりの普通列車が城崎まで2便を運行、逆に豊岡、城崎から鳥取までそれぞれ1便ずつ運行、また鳥取豊岡間の臨時快速の土日祝日運行されるなど大きな前進があった。  
このうち臨時快速列車「山陰海岸ジオライナー」については、継続運行・定期運行とするための活動を今後も行っていく必要がある。このため、県、市、岩美町等により設立した鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会を中心に利用促進活動を展開していく。  
【事業の成果】  
・団体旅行、学校活動及び魅力ある旅行商品等への支援  
・利用促進PRキャンペーン・イベントの実施  
・駅アクセスの調整  
会 員 鳥取県、鳥取市、岩美町、JR西日本、旅行会社等  
負担金 鳥取県：150万円  
鳥取市：100万円  
岩美町：50万円  
【今後の課題・方向性】  
山陰海岸ジオパーク世界認定を機に、鳥取駅発着の特急列車の増便も含めて、この地域における鉄道の利便性向上のため、引き続き、JRへの働きかけを行っていく。  
また、JRの今後の運行計画を視野に入れて、引き続き利用促進事業に支援して行く。

(参考)	
前年度決算額	1,000

評価結果	山陰海岸ジオパーク世界認定を機に、鳥取駅発着の特急列車の増便も含めて、この地域における鉄道の利便性向上のため、引き続き、JRへの働きかけを行っていく。 また、JRの今後の運行計画を視野に入れて、引き続き利用促進事業に支援して行く。
------	--

都市整備部  
交通政策課

都015	項目名	鳥取空港の利用を促進する懇話会負担金
------	-----	--------------------

主要な施策	空港利用促進費	ページ	25
-------	---------	-----	----

所属名	都市整備部 交通政策課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

当初予算額	7,720
-------	-------

補正予算額	△ 357
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	7,363
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	7,363
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	7,363
計	7,363

【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257

【9次総の施策体系】4202

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P208（都003）

【事業の概要】  
 鳥取県、鳥取市をはじめとした鳥取県東・中部並びに兵庫県北部の各自治体、経済団体等で「鳥取空港の利用を促進する懇話会」を設立。  
 鳥取空港の利用率向上、増便、運賃低廉化の実現に向けた取り組みを実施した。

【事業の成果】  
 ① 県内外での路線のPR  
 ② 旅行会社への商品造成の働きかけ等  
 ③ 利用促進に向けた各種キャンペーンの実施等  
 ※ 国交省の政策コンテストにより、平成26年3月30日から2年間、鳥取－東京便の5便化が実現  
 （負担金） 一般・特別負担金 6,720千円  
 チャーター便負担金 643千円  
 （乗客数） 平成23年度 277,133人  
 平成24年度 301,885人  
 平成25年度 330,016人

【今後の課題・方向性】  
 平成26年3月30日から2年間、鳥取－東京便が4便⇒5便となるため、更なる利用促進対策が必要となる。

(参考)

前年度決算額	8,413
--------	-------

評価結果	鳥取－羽田便の5便化継続のため、平成26年度からの2年間の利用実績が非常に大切になるため、引き続き支援していく。
------	--

都016	項目名	鳥取駅バリアフリー化整備事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	鳥取駅バリアフリー化整備事業費	ページ	24	所属名
-------	-----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	16,500

補正予算額	△ 115
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	16,385
-------	--------

本年度決算額	16,385
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	15,300
	その他	0
	一般財源	1,085
計		16,385

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257

【9次総の施策体系】4202

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P208（都004）

【事業の概要】  
 鳥取駅コンコーストイレ（シャミネ入口横）は、昭和54年の国鉄時代に整備されたもので、既に33年が経過し老朽化が進んでいることから、市民から改修を望む多く意見が寄せられてきた。このためJR西日本米子支社と協議を行った結果、改修工事費の一部を市が補助することにより25年度に整備を行った。

【事業の成果】  
 平成21年度から25年度までの予定で鳥取駅のバリアフリー化整備事業が行われており、最終年度である25年度はシャミネ側の耐震工事がおこなわれた。  
 本工事では、シャミネ横トイレ内も補強工事が必要となることから、この機会にトイレの全面改修を行うため、改修費の一部について本市が助成を行った。

【今後の課題・方向性】  
 整備が完了したことにより、本事業は終了する。

(参考)	
前年度決算額	1,894

評価結果	整備が完了したことにより、本事業は終了する。
------	------------------------

都市整備部  
交通政策課

都017	項目名	鳥取バスターミナルトイレ改修事業費
------	-----	-------------------

主要な施策	鳥取バスターミナルトイレ改修事業費	ページ	25
-------	-------------------	-----	----

所属名	都市整備部 交通政策課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)

当初予算額	0
補正予算額	1,281
予算流・充用額	0

最終予算額	1,281
本年度決算額	1,281

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,281
計	1,281

【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257

【9次総の施策体系】4202

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 8月補正予算・P27(都004)

【事業の概要】  
 鳥取バスターミナルは、市内外の各地を結ぶ公共交通の発着拠点として多くの人が利用している。しかし、男女別トイレの臭気や多目的トイレの老朽化が、以前から指摘されているところである。このため、改修費の一部を市が補助することによりトイレを改修する。

【事業の成果】  
 本市は、高齢者や障がい者はもとよりバス利用者の利便性の向上と、中心市街地の玄関口となる鳥取バスターミナルを振興する立場から、トイレ整備費の一部を支援した。  
 <男女別トイレの改修 1,512千円>  
 小便器・汚垂れ石・蛍光灯の交換、ハンドドライヤーの設置  
 <多目的トイレの改修 1,050千円>  
 便器・洗面器・照明器具・換気グリル・鏡・汚物入れの交換、手すり・ベビーベットの設置  
 <市補助額>  
 (1,512千円+1,050千円)×1/2=1,281千円

【今後の課題・方向性】  
 改修が完了したことから、本事業は終了する。

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	整備事業が完了したため本年度で終了する。
------	----------------------

都018	項目名	地方バス路線維持対策補助金
------	-----	---------------

主要な施策	地方バス路線維持対策費	ページ	25	所属名
-------	-------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	交通対策費

(単位:千円)	
当初予算額	206,000

補正予算額	△ 4,243
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	201,757
-------	---------

本年度決算額	201,757
--------	---------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	29,541
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	172,216
計		201,757

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257

【9次総の施策体系】4202

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P209 (都005)

【事業の概要】  
 路線バスは、もっとも身近な公共交通手段であり、地域住民、特に高齢者や学生などの交通弱者にとっては欠くことのできない交通機関である。しかし、少子化の進展や自家用車の普及などにより、バス利用者は年々減り続けており、多くの路線が赤字運行になっている。このため、国・県・市がバス事業者に対し補助金を交付してバス路線の維持に努めている。

【事業の成果】  
 高齢者や児童、生徒などの移動手段を確保するため、バス事業者へ補助金を交付することで、中山間地域をはじめとする鳥取市内の生活交通を維持する。  
 地方バス路線維持対策補助金実績 (一般財源ベース)  
 平成23年度 216,050千円 (187,002千円)  
 平成24年度 215,399千円 (186,781千円)  
 平成25年度 201,757千円 (172,216千円)

【今後の取り組み】  
 住民の生活交通を確保するため、更なるバス利用促進や運行経費削減への努力、代替交通手段の導入を含めた効率的かつ効果的な手段について検討・導入しながら、引き続き事業を実施する。

(参考)

前年度決算額	215,399
--------	---------

評価結果	住民の生活交通を確保するため、更なるバス利用促進や運行経費削減への努力、代替交通手段の導入を含めた効率的かつ効果的な手段について検討・導入しながら、引き続き事業を実施する。
------	--

都市整備部  
交通政策課

都019	項目名	バス代替タクシー運賃補助金
------	-----	---------------

主要な施策	生活交通確保対策事業費	ページ	25	所属名
-------	-------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	交通対策費

(単位:千円)	
当初予算額	18,315

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	△ 1,258
---------	---------

最終予算額	17,057
-------	--------

本年度決算額	17,057
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	2,700
	その他	0
	一般財源	14,357
計		17,057

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257

【9次総の施策体系】4202

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P209（都006）

【事業の概要】  
 平成13年10月から路線バス利用者の少なかった洞谷地区の路線バスの大幅な減便に伴い、代わりに事前電話予約の乗合タクシーを運行し、住民の生活交通を確保している。平成20年10月から国府地域、平成22年1月から米里地域、気高・青谷地域においても同事業を開始した。  
 また、平成23年10月からは、南部地域のバス路線再編により6路線において同事業を開始した。

【事業の成果】  
 路線バスの代替として、タクシーを既存の路線バスの各停留所を經由して運行させることにより、地域住民の生活交通の確保を図る。利用者は当該区間のバス運賃相当額を支払い、市は差額をタクシー事業者に支出する。  
 補助金及び利用者数  
 平成23年度 2,709千円 2,992人  
 平成24年度 8,698千円 14,833人  
 平成25年度 17,057千円 24,389人

【今後の課題・方向性】  
 本事業はバス路線補助金を削減しつつ、住民の交通手段を確保する事業である。地域の実情に応じた生活交通を確保するため、今後も継続して事業実施する。

(参考)	
前年度決算額	8,698

評価結果	本事業はバス路線補助金を削減しつつ、住民の交通手段を確保する事業であり継続して事業を実施する。
------	---

都市整備部  
交通政策課

都020	項目名	住民参画型バス停上屋整備事業補助金
------	-----	-------------------

主要な施策	生活交通確保対策事業費	ページ	25
-------	-------------	-----	----

所属名	都市整備部 交通政策課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257
-------	--------------------------

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	交通対策費

【9次総の施策体系】	4202
【予算計上の経過】	予算事業別概要目次 8月補正予算・P28（都005）
【事業の概要】	地域の住民が主体となってバス停上屋整備の計画から管理まで実施することにより、地域の実情にあったバス停上屋を整備し、もって地域福祉の向上及び公共交通の利用促進に資することを目的として、平成16年度から実施している。
【事業の成果】	地元が整備するバス停上屋に対する事業費補助 (負担割合) 地元1/3、市2/3（市町村交付金 約1/2充当） 平成23年度 1,180千円 3地区（3基） 平成24年度 2,293千円 7地区（7基） 平成25年度 2,480千円 5地区（6基）
【今後の課題・方向性】	地元住民が自ら参画する現補助制度を維持することで、住民利便性の向上が図られたものとなるとともに、バス利用促進に向けた住民意識の向上が図れる。

(単位:千円)

当初予算額	1,300
補正予算額	1,180

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,480
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	2,480
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	791
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,689
計	2,480	

(参考)

前年度決算額	2,293
--------	-------

評価結果	地元住民が自ら参画する現補助制度を維持することで、住民利便性の向上が図られ、併せてバス利用促進に向けた住民意識の向上が図れている。
------	---

都021	項目名	市町村有償運送事業費
------	-----	------------

主要な施策	生活交通確保対策事業費	ページ	25	所属名
-------	-------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	交通対策費

(単位:千円)	
当初予算額	14,401

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	△ 766
---------	-------

最終予算額	13,635
-------	--------

本年度決算額	13,580
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	1,900
その他	2,236
一般財源	9,444
計	13,580

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	2,236
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257  
【9次総の施策体系】4202

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P210（都007）

【事業の概要】  
合併前の気高町で運行していた福祉バスについて、平成18年7月から、道路運送法第78条に基づく自家用有償運送（市町村運営有償運送）の「気高循環バス」として運行。平成20年10月からは、路線バスの廃止により逢坂線を増便。  
また、平成23年4月から交通空白地域である絹見地区に市町村運営有償運送により絹見バスを運行することにより、児童生徒、高齢者等の移動手段を確保している。

【事業の成果】  
①気高循環バス 委託先（株）日本交通 委託料10,934,640円  
運行系統 4系統（瑞穂鹿野線、瑞穂上光線、船磯線、逢坂線）  
運行便数 16便  
利用者数 H23 11,378人 H24 10,174人 H25 9,157人  
②絹見バス 委託先（有）ニュー青谷タクシー 委託料2,142,189円  
運行系統 1系統（引地ー青谷小学校間）  
運行便数 10便  
利用者数 H23 3,439人 H24 3,805人 H25 3,562人

運休日 土日祝日及び12月29日～1月3日  
運賃 中学生以上200円、小学生100円、幼児無料、障がい者等100円

【今後の課題・方向性】  
住民の生活交通確保と利便性向上を図るため引き続き運行を行う。

(参考)	
前年度決算額	13,693

評価結果	地域住民の生活交通確保するため、住民の利用しやすいダイヤ運行等の業務改善を行いながら継続していく。
------	---

都市整備部  
交通政策課

都022	項目名	過疎地有償運送支援事業費
------	-----	--------------

主要な施策	生活交通確保対策事業費	ページ	25	所属名
-------	-------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	交通対策費

(単位:千円)	
当初予算額	4,467

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	△ 918
---------	-------

最終予算額	3,549
-------	-------

本年度決算額	3,548
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	1,754
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,794
計	3,548	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257

【9次総の施策体系】4202

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P210(都008)

【事業の概要】  
 公共交通空白地域対策や公共交通を補完するものとして、NPO法人等による「過疎地有償運送事業」を支援する。

【事業の成果】

① 福部循環バス(らっちゃん)  
 ・運行事業費補助 2,980,528円  
 ・事業実施主体 鳥取市社会福祉協議会  
 ・運行区間 福部地域内 1日8回循環  
 ・乗車実績 H23 10,405人 H24 10,568人 H25 10,848人

② ふるさとバス  
 ・運行事業費補助 568,000円  
 ・事業実施主体 NPO法人OMU  
 ・運行区間 大郷・御熊・内海中地区(大郷コース・末恒コース 週3日運行)  
 ・乗車実績 H23 866人 H24 896人 H25 894人

【今後の課題・方向性】  
 市民との協働による公共交通確保事業の取り組みとして継続して事業を実施する。

(参考)	
前年度決算額	6,905

評価結果	市民との協働による公共交通確保の取り組みとして、継続して事業を実施する。
------	--------------------------------------

都市整備部  
交通政策課

都023	項目名	100円循環バス運行費負担金
------	-----	----------------

主要な施策	100円循環バス運行事業費	ページ	25	所属名
-------	---------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	交通対策費

(単位:千円)	
当初予算額	23,651

補正予算額	5,533
-------	-------

予算流・充用額	4,464
---------	-------

最終予算額	33,648
-------	--------

本年度決算額	33,628
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	33,628
計		33,628

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257

【9次総の施策体系】4202

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P211 (都009)

【事業の概要】  
 市民の利便性の向上を目的に、平成14年10月1日から実験運行を行い、100円循環バス運行ルート等の改善、バス活性化協議会での審議等を経て、平成16年1月から本格運行を開始している。又、平成25年4月から緑コース運行開始する。

【事業の成果】  
 中心市街地活性化、公共交通空白地帯の解消、交通事故防止、環境負荷軽減等  
 ≪事業の内容・実績≫  
 上記の目的を達成するため、市街地をワンコイン(100円)で移動することが出来る交通機関(バス)を整備する。運行コース、運行時間等はこれまでの実験運行の結果をもとに決定している。  
 (運行事業者)日ノ丸自動車(株)、日本交通(株)(道路運送法第4条による運行)  
 (運行時間)8:05~18:45  
 (運行回数)平日93便(31便×3コース)、土日祝84便(28便×3コース)  
 (実績) 負担金 利用者数  
 平成23年度 18,617千円 301,916人  
 平成24年度 21,672千円 290,816人  
 平成25年度 33,628千円 363,391人

【今後の課題・方向性】  
 利用促進を行いながら現状維持を行う。

(参考)	
前年度決算額	21,672

評価結果	引き続き利用促進を行いながら中心市街地の活性化を図る。
------	-----------------------------

都市整備部  
交通政策課

都024	項目名	南部地域実証運行費
------	-----	-----------

主要な施策	公共交通利用促進総合再編事業費	ページ	25	所属名
-------	-----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	交通対策費

(単位:千円)	
当初予算額	1,995

補正予算額	△ 105
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,890
-------	-------

本年度決算額	1,890
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	945
地方債	0
その他	0
一般財源	945
計	1,890

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257

【9次総の施策体系】4202

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P211 (都010)

【事業の概要】  
 鳥取市南部地域で行うバスの実証運行にあたり、利用者調査を実施し、その結果をもとに実証運行のサービス内容に関する評価検証を実施する。

【事業の成果】  
 委託業務 鳥取市南部地域新総合公共交通運行調査及び利用促進業務  
 委託先 バイタルリード(株)  
 業務内容 ①バス利用者へのアンケート調査  
 ②シンポジウムなどのバス利用啓発推進事業の運営支援  
 ③鳥取市南部地域における実証運行の評価と検証  
 ※調査結果をもとに、路線の見直しやダイヤ編成を行った。

【今後の課題・方向性】  
 南部地域のバス路線網再編は、平成24年10月から実証運行に取り組んできたが、平成26年4月から本格運行に移行したため、本事業は終了する。

(参考)

前年度決算額	21,811
--------	--------

評価結果	バス路線網再編の取組は、南部地域が再編できたので、次は南東部地域の再編にとりかかる。
------	--

所属名	都市整備部 交通政策課
-----	----------------

都025	項目名	鳥取港振興会対策費
------	-----	-----------

主要な施策	鳥取港振興対策費	ページ	41	所属名
-------	----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	港湾費
目	港湾総務費

(単位:千円)	
当初予算額	8,167

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	8,167
-------	-------

本年度決算額	7,236
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	7,236
計		7,236

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257

【9次総の施策体系】4202

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P215（都017）

【事業の概要】  
 重要港湾鳥取港の利用促進を図るため、県・市の商工部局、商工団体等の協力を得ながら、「鳥取港振興会」と連携して積極的なポートセールス活動等を実施する。

事業内容  
 ①ポートセールス活動  
 ②外国貿易促進活動  
 ③港湾振興に関する情報収集、調査、分析  
 ④港湾施設の整備及び、港湾関係公共機関の設置に係る要望活動  
 ⑤クルーズ船誘致活動

【事業の成果】  
 ・会費 10千円  
 ・補助金 7,226千円 対象経費の1/2（県市折半）  
 ・事業実績  
 平成23年度 貨物取扱量 37万トン クルーズ船就航1隻  
 平成24年度 貨物取扱量 60万トン クルーズ船就航2隻  
 平成25年度 貨物取扱量 83万トン クルーズ船就航2隻

【今後の課題・方向性】  
 鳥取市として、鳥取港の目指す姿は「クルーズ船の寄港地」、「観光港」としてにぎわい創出に取り組んでいきたい。

(参考)	
前年度決算額	5,438

評価結果	現状を維持しつつ、更なる鳥取港の振興を図る。
------	------------------------

都市整備部  
交通政策課

都026	項目名	まちなか学生にぎわいプロジェクト事業費
------	-----	---------------------

主要な施策	特色あるまちづくり推進事業費	ページ	25
-------	----------------	-----	----

所属名	都市整備部 中心市街地整備課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3276

【9次総の施策体系】 4203

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P218（都024）

【事業の概要】  
 大学生をはじめとした若者の中心市街地のまちづくりへの参画により、活力や賑わいのある街なかの形成や若者の街なかへの定着につなげるため、学生提案事業に対し助成金を交付する。

【事業の成果】  
 中心市街地活性化に資すると認められる学生提案事業に対して支援を行い、若者のまちづくりへの参画による賑わいの創出、地域や多世代の交流促進を図った。  
 平成24年度 261千円（3件）  
 平成25年度 200千円（2件）

【今後の課題・方向性】  
 引き続き、中心市街地の活性化に資すると認められる学生提案事業に対して支援していく。

(単位:千円)

当初予算額	200
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	200
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	200
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	200
計	200	

(参考)

前年度決算額	261
--------	-----

評価結果	中心市街地活性化には若者の参画は重要であり、引き続き中心市街地活性化に資すると認められる学生提案事業に対して支援していく。
------	---

都027	項目名	街なか居住推進事業費
------	-----	------------

主要な施策	都心居住推進事業費	ページ	25
-------	-----------	-----	----

所属名	都市整備部 中心市街地整備課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3276

【9次総の施策体系】 4203

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P219（都025）

【事業の概要】  
 中心市街地における空地・駐車場などの低未利用地の急激な増加に対応するため、住宅供給に関する総合的な相談窓口を設置するとともに、コミュニティに寄与する住宅を建設する者や中心市街地に住宅を取得する者などに対し支援を行う。

【事業の成果】  
 街なか居住を推進するための多面的な体制を構築し、さまざまなニーズに対して情報提供を行うことで、街なか居住人口への関心喚起を図った。

【今後の課題・方向性】  
 支援事業の一般周知を徹底し、街なかへの居住を促進する。また、民間主体による、遊休不動産を活用したまちづくりを促進するための担い手の育成に取り組む。

(単位:千円)

当初予算額	10,347
-------	--------

補正予算額	△ 4,728
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	5,619
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	3,717
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	205
地方債	0
その他	0
一般財源	3,512
計	3,717

(参考)

前年度決算額	12,577
--------	--------

**評価結果** 第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画では、街なか居住の推進を基本方針の一つとしている。現在までの取り組みのほかに街なか居住を選択してもらうための誘導策や既存ストックの活用として、宅地建物取引業協会と連携のうえ、空き家バンクを設立し情報提供等も強化していきたい。

都028	項目名	中心市街地活性化協議会運営助成事業費
------	-----	--------------------

主要な施策	中心市街地活性化推進事業費	ページ	39
-------	---------------	-----	----

所属名	都市整備部 中心市街地整備課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】中心市街地整備課 0857-20-3278

【9次総の施策体系】4203

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P220（都027）

【事業の概要】  
 鳥取市中心市街地活性化協議会は、中心市街地活性化において重要な組織であり、「中心市街地活性化基本計画」掲載事業の推進をはじめ、各種民間事業者間の連絡調整や協議会専門部会の開催などを行っているが、財政基盤が脆弱なため、行政の支援が必要不可欠である。中心市街地活性化協議会を運営するにあたり、必要とされる人件費、一般管理費について補助する。

【事業の成果】  
 鳥取市中心市街地活性化協議会及び協議会設置団体に対して補助金を支出し、安定した運営と中心市街地の活性化策の進展を図った。

【今後の課題・方向性】  
 今後の中心市街地活性化協議会のあり方について協議を行うなかで、より効率的な支援方法を検討していく。

(単位:千円)

当初予算額	18,053
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	18,053
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	17,623
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	17,623
	計	17,623

(参考)

前年度決算額	8,991
--------	-------

評価結果	鳥取市中心市街地活性化協議会は、中心市街地活性化施策において重要な組織であり、各種民間事業者間の連絡調整などを行っているが、財政基盤は脆弱なため行政の支援が必要不可欠である。継続的により効率的な支援方法を協議し検討していく。
------	--

都029	項目名	中心市街地活性化助成事業費
------	-----	---------------

主要な施策	中心市街地活性化推進事業費	ページ	39	所属名
-------	---------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	5,600

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	5,600
-------	-------

本年度決算額	5,336
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	5,336
計		5,336

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】中心市街地整備課 0857-20-3278

【9次総の施策体系】4203

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P220(都028)

【事業の概要】  
 中心市街地区域内における民間イベント等の開催を支援することにより、中心市街地への集客によるにぎわい創出、中心市街地に対する関心喚起、中心市街地活性化に取り組む人材の育成をめざす。

【事業の成果】  
 年間を通じて来街者の呼び込みにつながっているほか、さまざまな媒体を通じてイベント情報が発信されることにより、中心市街地への関心喚起が図られている。  
 平成23年度 5,873千円 補助件数18件 総集客数42,873人  
 平成24年度 5,928千円 補助件数16件 総集客数17,444人  
 平成25年度 5,336千円 補助件数16件 総集客数14,602人

【今後の課題・方向性】  
 補助対象イベントでの集客実績は、中心市街地の賑わい創出に十分に寄与しており、公募提案型イベントへの補助とすることで、企画立案者の育成等も行ってきた。今後も広く公募することにより多くの方に活用していただくとともに、集客力の高いイベントに補助していきたい。

(参考)

前年度決算額	5,928
--------	-------

評価結果	中心市街地で公募提案型イベントを実施することで、普段まちなかに訪れない方にも中心市街地の商店等への関心喚起が図られるとともに、企画立案者の育成にも寄与している。今後も継続して集客力の高いイベントに支援していきたい。
------	---

所属名	都市整備部 中心市街地整備課
-----	-------------------

都030	項目名	街なか市民緑化関連展示支援事業費
------	-----	------------------

主要な施策	中心市街地活性化推進事業費	ページ	39
-------	---------------	-----	----

所属名	都市整備部 中心市街地整備課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】中心市街地整備課 0857-20-3278

【9次総の施策体系】4203

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P221（都029）

【事業の概要】  
 第30回全国都市緑化とっとりフェア開催に合わせ、市民の緑化に対する関心を高める契機とするため、「緑化」に関する展示や体験教室の開催を支援する（補助率10/10、上限10万円）。ただし、中心市街地活性化の観点から、展示会場等は中心市街地区域に所在する施設での開催に限定する。

【事業の成果】  
 中心市街地で開催する花や緑に関する展示や体験教室に対して補助した。  
 補助件数8件 総参加者数1,848人

【今後の課題・方向性】  
 中心市街地限定の事業としては、平成25年度をもって終了する。今後は全市的な緑化施策として継続する。

(単位:千円)

当初予算額	497
補正予算額	△18
予算流・充用額	0

最終予算額	479
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	479
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	479
計	479	

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	全国都市緑化とっとりフェア開催に合わせて、中心市街地を限定とした緑に関する展示や体験教室に支援し、市民の緑化に対する関心を高められた。今後は、中心市街地限定ではなく全市的な緑化施策として継続する。
------	--

都031	項目名	鳥取駅前太平線再生プロジェクト事業費
------	-----	--------------------

主要な施策	鳥取駅周辺再生整備事業費	ページ	41
-------	--------------	-----	----

所属名	都市整備部 中心市街地整備課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-20-3278  【9次総の施策体系】4203  【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P221（都030）  【事業の概要】 人通りの減少が著しい鳥取駅前太平線を人が集う魅力的な環境に再生するため、平成20、21年度の実証事業の成果を踏まえ、平成25年7月に全天候型賑わい空間（愛称「バード・ハット」）を整備した。太平線プロジェクトの事業効果を最大限に発揮させるため、駅前太平線で開催されるイベントに対する補助制度を創設することで、駅周辺エリアの来街者の呼び込み及び活性化を図る。  【事業の成果】 駅前商店街や各種団体等が主体となり、集客力の向上に資するイベント（38件）の実施により、計84,749人もの来街者を呼び込み、駅前太平線の賑わいの創出を図った。  【今後の課題・方向性】 事業の効果を高めるため、引き続き駅前太平線バード・ハットの管理運営、イベントに対する支援を行う。
-------	--

会計名	一般会計
款	土木費
項	都市計画費
目	都市計画総務費

(単位:千円)	
当初予算額	4,800

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	4,800
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	4,800
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	4,800
	計	4,800

(参考)	
前年度決算額	33,533

評価結果	平成25年7月にオープンしたバード・ハットでは、イベントを38件実施し、約85千人の来街者があった。全天候型の芝生広場等を活用することで新たな賑わいの拠点と認知されてきている。本事業は、駅周辺の再生、賑わい創出に不可欠なものであり、今後も官民一体でイベントを支援していきたい。
------	--

都032	項目名	鳥取駅周辺再生整備事業費
------	-----	--------------

主要な施策	鳥取駅周辺再生整備事業費	ページ	41	所属名
-------	--------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	都市計画費
目	都市計画総務費

(単位:千円)	
当初予算額	6,902

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	6,902
-------	-------

本年度決算額	6,846
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	6,846
計		6,846

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278

【9次総の施策体系】 4203

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P222 (都031)

【事業の概要】  
 本市がめざす「多極型のコンパクトなまちづくり」の実現に向け、鳥取駅周辺の再生を図るため、「鳥取駅周辺再生基本計画」に位置付ける鳥取駅周辺での歩行環境整備や周辺施設の利便性向上のための調査及び検討を行う。

【事業の成果】  
 歩行環境整備や周辺施設の利便性向上のための調査及び検討結果を踏まえ、「鳥取駅周辺再生基本計画」に位置付けた事業を推進していく。

【今後の課題・方向性】  
 引き続き「鳥取駅周辺再生基本計画」の推進のため、鳥取駅北口トイレの整備、社会資本総合整備計画の策定等を行う。

(参考)	
前年度決算額	1,353

評価結果	鳥取駅周辺再生基本計画では、様々な事業を計画している。平成25年度は、駅北側の歩行者動線の拡充を検討するため、市道駅前太平線完成後の交通量調査及び分析を行った。今後も、基本計画掲載事業を実施し、中心市街地の活性化を図る。
------	--

都市整備部  
中心市街地整備課

都033	項目名	殿ダム対策費
------	-----	--------

主要な施策	殿ダム対策費	ページ	40	所属名
-------	--------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	土木管理費
目	土木総務費

(単位:千円)	
当初予算額	531,560

補正予算額	△ 28,503
-------	----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	503,057
-------	---------

本年度決算額	497,036
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	497,036
一般財源	0
計	497,036

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	344,252
使用料	0
手数料	0
財産収入	175
寄付金	0
繰入金	152,609
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】管理・都市緑化係 0857-20-3252  
【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P222 (都032)

【事業の概要】  
ダム事業を円滑に推進するため、殿ダム周辺集落等の生活再建・活性化対策を行ってきた。平成24・25年度で、記念広場・中央広場などのダム周辺の整備を行い、更なる地域活性化を図る。

【事業の成果】

殿ダム記念広場整備工事等	466,279千円
殿ダム広場整備工事積算及び監督補助業務等	10,686千円
殿ダム交流館内備品購入等	7,798千円
殿ダム水源地域等対策事業補助金	1,800千円
基金積立金	175千円
人件費等	8,749千円
事務費等	1,549千円

平成23年度 87,556千円  
平成24年度 171,601千円  
平成25年度 497,036千円

【今後の課題・方向性】  
殿ダム水源地域ビジョンの基本方針に基づいた施策を継続的に展開するとともに、市民の憩いの場として活用を図りながら、地域振興や交流の促進につなげるよう進めていく必要がある。

(参考)	
前年度決算額	171,601

評価結果	殿ダム事業の完成により、洪水調節や水力発電など市民の安全で安心な暮らしを守るとともに、市民の憩いの場としての活用を図りながら地域振興や交流の促進をさらに進める必要がある。
------	---

都市整備部  
都市環境課

都034	項目名	普通河川改良事業費
------	-----	-----------

主要な施策	普通河川改良事業費	ページ	41	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	河川費
目	河川総務費

(単位:千円)	
当初予算額	9,100

補正予算額	△ 1,000
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	8,100
-------	-------

本年度決算額	5,209
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	4,600
その他	0
一般財源	609
計	5,209

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】河川係 0857-20-3256

【9次総の施策体系】4102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P223 (都033)

【事業の概要】  
 河川災害を未然に防止するため、治水・環境衛生上重要な法定外水路の改修・改良を行い、流域の浸水被害の軽減、環境改善を図る。

【事業の成果】  
 笹谷改良工事、中代川・岩倉川改良工事 5,139千円  
 事務費等 70千円

平成23年度 34,363千円  
 平成24年度 27,664千円  
 平成25年度 5,209千円  
 (翌年度繰越額 2,890千円)

【今後の課題・方向性】  
 河川災害等の防止を図るため、計画的な工事実施を図る。

(参考)	
前年度決算額	27,664

評価結果	流域の浸水被害の軽減、環境改善を図るうえで重要な業務である。
------	--------------------------------

都市整備部  
都市環境課

都035	項目名	治水対策事業費(地域の元気臨時交付金活用事業費)
------	-----	--------------------------

主要な施策	治水対策事業費	ページ	41
-------	---------	-----	----

所属名	都市整備部 都市環境課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	土木費
項	河川費
目	河川総務費

【問合せ先】河川係 0857-20-3256

【9次総の施策体系】4102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P223（都034）

【事業の概要】  
 浸水被害箇所への計画的な内水排除対策工事等実施し、治水対策事業の促進を図る。  
 洪水時、宅地の浸水被害に緊急対応するため、既設ポンプ場の点検・修理を行う。

【事業の成果】

洗井川改良工事	32,433千円
椎ノ木谷川改良工事測量設計業務	3,062千円
赤子田地区浸水対策工事測量設計業務	1,281千円
用地取得（1件）	4,127千円
人件費	500千円
事務費等	464千円

【今後の課題・方向性】  
 内水対策による浸水防止を行い、住民の安全確保を図る。

(単位:千円)

当初予算額	79,000
補正予算額	△ 27,266

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	51,734
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	41,867
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	41,387
地方債	0
その他	0
一般財源	480
計	41,867

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	継続して内水対策による浸水防止を行い、住民の安全確保を図る。
------	--------------------------------

都036	項目名	工業団地整備関係事業費
------	-----	-------------

主要な施策	工業団地整備関係事業費	ページ	41	所属名
-------	-------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	河川費
目	河川総務費

(単位:千円)	
当初予算額	116,000

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	116,000
-------	---------

本年度決算額	92,098
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	87,400
	その他	0
	一般財源	4,698
計		92,098

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<b>事業の概要</b>	
【問合せ先】河川係 0857-20-3256	
【9次総の施策体系】4102	
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P224(都035)	
【事業の概要】 河原インター山手工業団地整備に伴い、その用地内から発生する雨水を処理するためのバイパス排水路を事前に整備する。	
【事業の成果】	
旧三谷川流域排水路整備工事等	73,320千円
カスミサンショウウオ保全対策業務	978千円
水道配管業務	641千円
物件移転補償(3件)	17,122千円
事務費等	37千円
平成24年度	76,677千円
平成25年度	92,098千円
(翌年度繰越額 23,648千円)	
【今後の課題・方向性】 事業の早期完成を図る。	

(参考)	
前年度決算額	76,677

評価結果	事業の早期完成を図る。
------	-------------

都市整備部 都市環境課
----------------

都037	項目名	全国都市緑化フェア開催事業費
------	-----	----------------

主要な施策	全国都市緑化フェア開催事業費	ページ	41
-------	----------------	-----	----

所属名	都市整備部 都市環境課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	土木費
項	都市計画費
目	都市公園整備費

【問合せ先】管理・都市緑化係 0857-20-3252

【9次総の施策体系】4102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P225（都037）

【事業の概要】  
 全国都市緑化フェアは、都市緑化意識の高揚と知識の普及等を図ることにより、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として、昭和58年から毎年開催されている花と緑の祭典である。平成23年度に基本構想を策定し、国土交通大臣の開催同意を得た。平成23年度から実行委員会を設立し、平成25年度に県と市でとっとりフェアを開催した。

【事業の成果】  
 全国都市とっとりフェア実行委員会負担金 359,993千円  
 全国都市緑化祭実行委員会負担金 19,877千円

平成23年度 35,000千円  
 平成24年度 223,137千円  
 平成25年度 379,870千円

【今後の課題・方向性】  
 事業は完了したが、全国都市緑化フェアの開催を契機として、本市における緑化推進、市民の緑化意識の高揚を促進する必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	379,870
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	379,870
本年度決算額	379,870

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	379,870
諸収入	0
その他	0

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	379,870
一般財源	0
計	379,870

(参考)

前年度決算額	223,137
--------	---------

評価結果	全国都市緑化フェアの開催を契機として、本市における緑化推進(ガーデンシティ推進事業)、市民の緑化意識の高揚を促進する必要がある。
------	--

都038	項目名	全国都市緑化フェア関連事業費
------	-----	----------------

主要な施策	全国都市緑化フェア開催事業費	ページ	41
-------	----------------	-----	----

所属名	都市整備部 都市環境課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	土木費
項	都市計画費
目	都市公園整備費

【問合せ先】管理・都市緑化係 0857-20-3252

【9次総の施策体系】4102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P225（都038）

【事業の概要】  
 全国都市緑化フェアは、都市緑化意識の高揚と知識の普及等を図ることにより、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として、昭和58年から毎年開催されている花と緑の祭典である。平成23年度に基本構想を策定し、国土交通大臣の開催同意を得た。平成23年度から実行委員会を設立し、平成25年度に県と市でとっとりフェアを開催した。

【事業の成果】

公用マイクロバス運行業務等	1, 836千円
都市緑化とっとりフェア案内表示板設置業務等	2, 955千円
ナチュラルガーデンにおけるデザイン監修・植栽管理指導業務	2, 993千円
路線バス臨時運行支援事業及び定額タクシー運行支援事業補助金	383千円
事務費等	369千円

【今後の課題・方向性】  
 事業は完了したが、全国都市緑化フェアの開催を契機として、本市における緑化推進、市民の緑化意識の高揚を促進する必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	7,614
補正予算額	942
予算流・充用額	0

最終予算額	8,556
本年度決算額	8,536

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	8,536
計	8,536

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	全国都市緑化フェアの開催を契機として、本市における緑化推進(ガーデンシティ推進事業)、市民の緑化意識の高揚を促進する必要がある。
------	--

都039	項目名	第31回全国都市緑化しずおかフェア出展事業費
------	-----	------------------------

主要な施策	全国都市緑化フェア開催事業費	ページ	41
-------	----------------	-----	----

所属名	都市整備部 都市環境課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	土木費
項	都市計画費
目	都市公園整備費

【問合せ先】管理・都市緑化係 0857-20-3252

【9次総の施策体系】4102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P226（都039）

【事業の概要】  
 全国都市緑化しずおかフェアにナチュラルガーデンを出展することにより、鳥取緑化スタイルをPRする。

【事業の成果】  
 第31回全国都市緑化しずおかフェア自治体出展施工・管理業務 1,732千円  
 業務完了検査（静岡1人） 43千円

平成25年度 1,775千円

【今後の課題・方向性】  
 出展事業完了

（単位：千円）	
当初予算額	1,750

補正予算額	45
-------	----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,795
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,775
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,775
	計	1,775

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	平成26年度をもって事業終了となる。
------	--------------------

都040	項目名	花と緑のフェア開催補助金
------	-----	--------------

主要な施策	花と緑のフェア開催補助金	ページ	41	所属名
-------	--------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	都市計画費
目	都市公園整備費

(単位:千円)	
当初予算額	450

補正予算額	△ 100
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	350
-------	-----

本年度決算額	340
--------	-----

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	340
	計	340

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】管理・都市緑化係 0857-20-3252

【9次総の施策体系】4102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P226 (都040)

【事業の概要】  
 市民の都市緑化意識の高揚に資するため、鳥取県東部において開催される花と緑のフェアの開催経費を補助する。

【事業の成果】  
 花と緑のフェア開催補助金 340千円  
 開催場所 湖山池公園休養ゾーン(金沢地区)  
 開催期間 平成25年6月8日～平成25年6月9日

平成23年度 350千円  
 平成24年度 350千円  
 平成25年度 340千円

【今後の課題・方向性】  
 全国都市緑化フェアの開催を契機として、本市における緑化推進、市民の緑化意識の高揚を促進する必要がある。

(参考)	
前年度決算額	350

評価結果	継続して補助を行い、市民の緑化意識と啓発と効用を図る必要がある。
------	----------------------------------

都市整備部  
都市環境課

都041	項目名	公園整備事業費
------	-----	---------

主要な施策	公園整備費	ページ	42
-------	-------	-----	----

所属名	都市整備部 都市環境課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	土木費
項	都市計画費
目	都市公園整備費

(単位:千円)	
当初予算額	21,710

補正予算額	1,401
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	23,111
-------	--------

本年度決算額	22,320
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	7,852
地方債	7,400
その他	0
一般財源	7,068
計	22,320

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】公園係 0857-20-3273</p> <p>【9次総の施策体系】4102</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次          当初予算・P227(都041)</p> <p>【事業の概要】          ≪事業の経過及び背景≫          社会資本整備総合交付金(公園事業)を活用し、公園事業を推進する。          H25年度全国都市緑化とっとりフェア開催準備と併せ、公園整備を進める。          緑の拠点となる近隣公園、街区公園の整備を進める。          安全で、安心して利用できる公園づくりを推進するため、長寿命化計画を策定し計画的に安全・安心対策事業を進める。</p> <p>【事業の成果】          江津第1・2公園整備工事等 19,311千円          公共下水道特別使用分担金(津ノ井スポーツ広場) 2,610千円          事務費等 399千円</p> <p>平成24年度 171,262千円          平成25年度 22,320千円</p> <p>【今後の課題・方向性】          施設の適正な管理が必要。</p>
---

(参考)	
前年度決算額	171,262

評価結果	施設の適正な管理が必要である。
------	-----------------

都042	項目名	湖山池公園整備事業費
------	-----	------------

主要な施策	湖山池公園整備事業費	ページ	42	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	土木費
項	都市計画費
目	都市公園整備費

(単位:千円)	
当初予算額	61,500

補正予算額	41,121
-------	--------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	102,621
-------	---------

本年度決算額	12,259
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	5,677
地方債	5,900
その他	0
一般財源	682
計	12,259

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】公園係 0857-20-3273、管理・都市緑化係 0857-20-3252

【9次総の施策体系】4102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P227（都042）

【事業の概要】  
 社会資本整備総合交付金（公園事業）を活用し、湖山池公園整備を進める。

【事業の成果】

湖山池公園お花畑ゾーン整備工事	5,910千円
湖山池公園子供の遊びゾーン青島伐採業務等	5,444千円
事務費等	905千円

平成24年度 172,564千円  
 平成25年度 12,259千円  
 （翌年度繰越額 88,805千円）

【今後の課題・方向性】  
 引き続き湖山池公園の整備を推進する。

(参考)	
前年度決算額	172,564

評価結果	継続して湖山池公園の整備を行い、適正な管理を行う。
------	---------------------------

都市整備部  
 都市環境課

都043	項目名	都市公園管理費
------	-----	---------

主要な施策	公園管理費	ページ	42	所属名
-------	-------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	都市計画費
目	公園管理費

(単位:千円)	
当初予算額	116,211

補正予算額	△ 36
-------	------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	116,175
-------	---------

本年度決算額	116,174
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	3,018
一般財源	113,156
計	116,174

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	3,018
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】公園係 0857-20-3273

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P228 (都043)

【事業の概要】  
 都市公園等の維持管理業務を適正・迅速に行う事により、安全・安心な憩いの場を市民に提供する。  
 また、指定管理者制度を導入し、指定管理者の創意工夫に基づき民間的な要素を取り入れた質の高い住民サービスを提供し、経費節減、業務の効率化を図る。また、禰公園はホテルの鑑賞に大勢の方が訪れるため、周辺住民の生活環境に配慮するとともに、鑑賞しやすい環境を整えることで公園の利用促進を図る。

【事業の成果】  
 都市公園等の指定管理料等 114,442千円  
 禰公園鳥取東照宮境内地借上料等 1,698千円  
 事務費等 34千円

平成23年度 116,937千円  
 平成24年度 117,964千円  
 平成25年度 116,174千円

【今後の課題・方向性】  
 市民に対して安心・安全な憩いの広場を提供し、公園の利用促進を図る。

(参考)	
前年度決算額	117,964

評価結果	安全・安心な憩いの場としての公園利用促進において、維持管理は必要である。
------	--------------------------------------

都市整備部  
都市環境課

都044	項目名	公園芝生化推進事業費
------	-----	------------

主要な施策	芝生化推進事業費	ページ	42	所属名
-------	----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	都市計画費
目	公園管理費

(単位:千円)	
当初予算額	11,607

補正予算額	△ 423
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	11,184
-------	--------

本年度決算額	10,061
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	3,758
地方債	0
その他	0
一般財源	6,303
計	10,061

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】公園係 0857-20-3273

【9次総の施策体系】4102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P228（都044）

【事業の概要】  
 既存の公園、公共空地を芝生化することにより、遊具等の新たな整備費用の抑制、草刈り等の維持管理費用の削減を図る。市民が直接事業に参加することにより「協働」意識の高揚を図る。芝生化による安全快適な遊び場の提供、環境保全などの効果を高める。

【事業の成果】  
 鳥取市協働による芝生維持管理業務等 7,284千円  
 乗用及び自走式芝刈り機購入 1,577千円  
 地域コミュニティ育成支援事業補助金（3件） 1,200千円

平成23年度 2,306千円  
 平成24年度 10,142千円  
 平成25年度 10,061千円

【今後の課題・方向性】  
 地域住民等と共同して、芝苗(ポット苗)の植え付け、水やり、芝刈りなど継続して維持管理を行っていく。

(参考)	
前年度決算額	10,142

評価結果	鳥取市の特色ある施策として、公園の協働による芝生化をより一層進めていく必要がある。
------	---

都市整備部  
都市環境課

都045	項目名	ディスカバー湖山池推進事業費
------	-----	----------------

主要な施策	ディスカバー湖山池推進事業費	ページ	42	所属名
-------	----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	都市計画費
目	公園管理費

(単位:千円)	
当初予算額	7,236

補正予算額	1,000
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	8,236
-------	-------

本年度決算額	7,730
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	7,730
計	7,730	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】公園係 0857-20-3273

【9次総の施策体系】4102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P229 (都045)

【事業の概要】  
 湖山池情報プラザを活用し、湖山池に関する情報発信の拠点づくりを進める。  
 きれいになった湖山池を市内外に広くPRすることで、市民や観光客に再発見してもらい、湖山池を鳥取砂丘と並ぶ魅力スポットとする。

【事業の成果】  
 湖山池自然体験・環境学習の拠点づくり事業業務等 5,935千円  
 湖山池シーズンウォーク実施補助金 1,536千円  
 湖山池情報プラザ会議室カーテン 110千円  
 事務費等 149千円

平成24年度 2,287千円  
 平成25年度 7,730千円

【今後の課題・方向性】  
 湖山池を市内外に広くPRし、市民や観光客に再発見してもらい湖山池を鳥取砂丘と並ぶ魅力あるスポットとする。

(参考)

前年度決算額	2,287
--------	-------

評価結果	継続して事業実施し、市民や観光客に再発見してもらい湖山池を鳥取砂丘と並ぶ魅力あるスポットとしていく。
------	--

所属名	都市整備部 都市環境課
-----	----------------

都046	項目名	補助災害復旧費
------	-----	---------

主要な施策	現年発生災害復旧費	ページ	49
-------	-----------	-----	----

所属名	都市整備部 都市環境課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	災害復旧費
項	災害復旧費
目	公共土木災害復旧費

【問合せ先】公園係 0857-20-3273

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 12月補正予算・P41（都006）

【事業の概要】  
 9/4の集中豪雨により、公園に災害被害が発生し、復旧工事及び業務を実施する。

【事業の成果】

千代川緑地災害復旧工事等	12,717千円
千代川緑地災害復旧工事測量設計業務等	4,568千円
人件費	428千円

平成25年度 17,713千円  
 （翌年度繰越額 20,102千円）

【今後の課題・方向性】  
 事業完了

(単位:千円)

当初予算額	0
-------	---

補正予算額	37,412
-------	--------

予算流・充用額	404
---------	-----

最終予算額	37,816
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	17,713
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	8,482
地方債	4,600
その他	0
一般財源	4,631
計	17,713

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	計画通り完了した。
------	-----------

都047	項目名	単独災害復旧費
------	-----	---------

主要な施策	現年発生災害復旧費	ページ	49
-------	-----------	-----	----

所属名	都市整備部 都市環境課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	災害復旧費
項	災害復旧費
目	公共土木災害復旧費

【問合せ先】公園係 0857-20-3273、河川係 0857-20-3256

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 12月補正予算・P42（都007）

【事業の概要】  
 8/1・9/4の集中豪雨により、公園・河川・水路に災害被害が発生し、復旧工事及び業務を実施する。

【事業の成果】  
 千代川緑地災害復旧工事等 93千円  
 オノ谷緑地災害復旧工事測量設計業務等 2,131千円

平成25年度 2,224千円  
 （翌年度繰越額 6,869千円）

【今後の課題・方向性】  
 事業完了

(単位:千円)

当初予算額	0
-------	---

補正予算額	9,602
-------	-------

予算流・充用額	△ 403
---------	-------

最終予算額	9,199
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	2,224
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	2,100
その他	0
一般財源	124
計	2,224

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	計画通り完了した。
------	-----------

都048	項目名	街路灯設置費
------	-----	--------

主要な施策	街路灯設置費	ページ	25	所属名
-------	--------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	諸費

(単位:千円)	
当初予算額	14,000

補正予算額	773
-------	-----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	14,773
-------	--------

本年度決算額	14,274
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	3,004
地方債	2,300
その他	1,748
一般財源	7,222
計	14,274

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	1,748
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】管理係 0857-20-3261

【9次総の施策体系】3302

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P229（都046）、12月補正予算・P42（都008）

【事業の概要】  
 防犯灯の設置により、夜間通行における踏み外し等の事故防止と、暗がり箇所を減少させ、心理的な安心感をもたらすことで、犯罪予防効果の増大を図る。さらに、防犯灯をLED化し、CO2排出量の削減と電気代等の節減により環境にやさしく維持管理の容易な照明を普及し、夜間の安全な通行を確保する。

【事業の成果】  
 ○防犯灯設置（交付金、起債）  
 平成23年度 165基 12,006千円  
 平成24年度 178基 12,347千円  
 平成25年度 174基 5,461千円  
 ○防犯灯取替（負担金）  
 平成25年度 421基 8,813千円

【今後の課題・方向性】  
 設置要望数が多いため複数年かけて設置しており、要望のある限り継続実施する。しかし、費用負担を過度に増大させないため、設置にあたり判断基準を設ける。

(参考)	
前年度決算額	12,347

評価結果	市民の安全で安心して生活できる環境の整備は行政の責務である。整備コストは行政負担だが維持管理費用は地元といった現制度下での事業推進は、地域の自立性を高め、かつ防犯・防災意識の向上が期待される。年々治安に対する不安感が広がるなかで、安全・安心を確保するまちづくりの一環である本事業は継続して実施していく必要がある。
------	--

都市整備部  
道路課

都049	項目名	道路管理費
------	-----	-------

主要な施策	道路管理費	ページ	40	所属名
-------	-------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	道路橋梁費
目	道路維持費

(単位:千円)	
当初予算額	91,769

補正予算額	9,054
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	100,823
-------	---------

本年度決算額	98,505
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	3,615
地方債	0
その他	1,026
一般財源	93,864
計	98,505

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	1,026
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】管理係 0857-20-3261

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P230（都047）、8月補正予算・P29（都008）

【事業の概要】  
 定期的な道路パトロール、道路及び道路施設等の損傷箇所の修繕対応、市道沿線の除草、植栽の剪定管理、道路施設（鳥取駅南広場、鳥取大学前駅広場、ポンプ場等）の維持管理、冠水対策施設維持管理、側溝浚渫、街路灯の補修等を直営若しくは業者、町内会等へ委託により実施する。また、特記業務として、春と秋の全市一斉清掃のごみ回収業務がある。

【事業の成果】  
 定期的な道路パトロール、道路及び道路施設等の損傷箇所の修繕対応、市道沿線の除草、植栽の剪定管理、道路施設（鳥取駅南広場、鳥取大学前駅広場、ポンプ場等）の維持管理、冠水対策施設維持管理、側溝浚渫、街路灯の補修、全市一斉清掃のごみ回収業務

【今後の課題・方向性】  
 管理すべき道路施設の増加により光熱水費、延長の増加による除草等の維持管理経費、施設の老朽化による修繕費というものが増加している。  
 質を低下させることなくコストを抑える方策を検討することが必要と考える。

(参考)

前年度決算額	98,900
--------	--------

評価結果	管理すべき道路施設の増加により光熱水費、延長の増加による除草等の維持管理経費、施設の老朽化による修繕費というものが増加している。質を低下させることなくコストを抑える方策を検討することが必要と考える。
------	---

都市整備部  
道路課

都050	項目名	太平線芝生広場等管理運営事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	道路管理費	ページ	40
-------	-------	-----	----

所属名	都市整備部 道路課
-----	--------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	土木費
項	道路橋梁費
目	道路維持費

【問合せ先】管理係 0857-20-3261

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P231（都049）

【事業の概要】  
 駅前太平線再生プロジェクト事業が平成25年夏に完成し、管理活用協定に基づき、官民一体となり芝生広場の管理運営を行う。

【事業の成果】  
 芝生広場管理業務、新鳥取駅前地区商店街振興組合への業務委託

【今後の課題・方向性】  
 道路区域において、適切な維持管理を行う。

(単位:千円)

当初予算額	4,383
-------	-------

補正予算額	△ 281
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	4,102
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	3,622
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	3,622
計	3,622

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	管理すべき道路施設が増加したことにより維持管理費が増加することとなるが、質を低下させることなくコストを抑える方を検討することが必要と考える。
------	--

都051	項目名	一般道補修費
------	-----	--------

主要な施策	一般道補修費	ページ	40	所属名
-------	--------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	道路橋梁費
目	道路維持費

(単位:千円)	
当初予算額	171,984

補正予算額	△ 2,514
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	169,470
-------	---------

本年度決算額	159,555
--------	---------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	38,959
	一般財源	120,596
計		159,555

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	38,959
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】維持第1係、維持第2係 0857-20-3262、20-3263

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P231（都050）、12月補正予算・P43（都009）

【事業の概要】  
 道路の損傷箇所の補修並びに地域からの要望による道路改良を行い、通行者の安全を確保すべく道路施設を維持する。

【事業の成果】  
 路面損傷等による事故発生の可能性がある箇所を緊急に補修対応するため、緊急修繕業務を年度当初に発注するとともに、地区要望（側溝改良、歩道改良、法面補修など）による道路の維持補修を実施。  
 平成23年度 171,051千円  
 平成24年度 174,669千円  
 平成25年度 159,555千円

【今後の課題・方向性】  
 市道に関する要望・苦情が多種多様化しており、適切かつ柔軟な対応が求められている。また、件数も膨大であり、その処理が急がれる。

(参考)

前年度決算額	174,669
--------	---------

評価結果	市道に関する要望・苦情が多種多様化しており、適切かつ柔軟な対応が求められている。また、件数も膨大であり、その処理が急がれる。
------	--

都市整備部  
道路課

都052	項目名	除雪費
------	-----	-----

主要な施策	除雪関係費	ページ	40	所属名
-------	-------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	土木費
項	道路橋梁費
目	道路維持費

(単位:千円)	
当初予算額	76,774

補正予算額	189,076
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	265,850
-------	---------

本年度決算額	137,630
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	18,267
地方債	11,700
その他	0
一般財源	107,663
計	137,630

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】管理係 0857-20-3261

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P232（都051）、8月補正予算・P30（都009）  
 12月補正予算・P43（都010）

【事業の概要】  
 車道・歩道除雪作業（直営及び委託）、消雪パイプの保守点検・巡回業務、積雪観測業務、凍結防止剤散布業務（委託）、除雪車両（市所有分）の点検整備、小型除雪機配備（希望する地域）、その他除雪に必要な資材の購入、消雪装置の修繕等を行う。

【事業の成果】  
 平成23年度 306,610千円  
 平成24年度 132,397千円  
 平成25年度 137,630千円  
 （翌年度繰越額 26,800千円）

【今後の課題・方向性】  
 市民からの除雪路線の拡充要望は多い。  
 一方、コスト削減のため、機械を手放し除雪業務委託を断る業者が増加しており、現在の除雪延長を維持するため、除雪業者の確保が課題である。  
 このような現状を解決するために、町内会へ小型除雪機の貸与、リース業者の活用、除雪車両の整備、貸し出し用排雪装置（ブラウ）の整備等を進める。

(参考)	
前年度決算額	132,397

評価結果	市民からの除雪路線の拡充要望は多い。しかしながら、コスト削減のため機械を手放し除雪業務委託を断る業者が増加しており、現在の除雪延長を維持するため、除雪業者の確保が課題となっている。このような現状を解決するために、町内会へ小型除雪機の貸与、リース業者の活用、除雪車両の整備、貸し出し用排雪装置（ブラウ）の整備等を進める。
------	---

都市整備部  
道路課

都053	項目名	道路舗装新設工事費
------	-----	-----------

主要な施策	道路舗装新設費	ページ	41
-------	---------	-----	----

所属名	都市整備部 道路課
-----	--------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	一般会計
款	土木費
項	道路橋梁費
目	道路新設改良費

【問合せ先】維持第1係、維持第2係 0857-20-3262、20-3263

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P232（都052）

【事業の概要】  
 道路占用の掘削復旧、交通量、大型車両等の増加により、舗装へ与える悪影響は非常に強いものがある。損傷した舗装路面を修繕することにより、通過交通の円滑かつ安全な通行を確保する。

【事業の成果】  
 道路の沈下（段差、わだち等）、クラック等の発生した路線の全面舗装改修（舗装打ちなおし、切削、オーバーレイなど）を実施する。  
 平成23年度 83,144千円  
 平成24年度 65,556千円  
 平成25年度 58,118千円

【今後の課題・方向性】  
 道路環境の改善を図るため、迅速かつ適切な舗装新設を行う必要がある。

（単位：千円）	
当初予算額	59,700

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	59,700
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	58,118
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	58,118
計	58,118	

(参考)	
前年度決算額	65,556

評価結果	道路環境の改善を図るため、迅速かつ適切な舗装新設を行う必要がある。
------	-----------------------------------

都054	項目名	地方道路整備交付金事業費
------	-----	--------------

主要な施策	地方道路整備交付金事業費	ページ	41	所属名
-------	--------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	土木費
項	道路橋梁費
目	道路新設改良費

(単位:千円)	
当初予算額	601,000

補正予算額	△ 11,941
-------	----------

予算流・充用額	△ 1,152
---------	---------

最終予算額	587,907
-------	---------

本年度決算額	424,459
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	223,490
地方債	175,000
その他	0
一般財源	25,969
計	424,459

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】維持第1係、維持第2係、新設改良係 0857-20-3262、20-3263、20-3254

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】

予算事業別概要目次

当初予算・P233 (都053) 、6月補正予算・P28 (都011)

7月補正予算・P2 (都001) 、8月補正予算・P30 (都010)

【事業の概要】

日常生活の基盤となる市道の新設、拡幅改良事業により、生活道路の整備、危険箇所の解消、交通の安全確保を図り、また、山陰道整備に伴う市道整備も推進し、市民生活の利便性の向上を図る。また、鳥取駅周辺整備は、人が集う魅力的な環境に再生し、駅前周辺はもとより街なか再生の起爆剤となることを目指す。

【事業の成果】

- (1) 社会資本整備総合交付金事業 (交付率55%) 河原工業団地幹線道路ほか32路線
- (2) 社会資本整備総合交付金事業 (交付率45・50%) 扇幸町1号線、駅前太平洋線高質空間整備
- (3) 道整備交付金事業 (交付率50%) 美歎線
- (4) 河原工業団地環境影響調査

平成25年度 424,459千円  
(翌年度繰越額 161,170千円)

【今後の課題・方向性】

交付金等を活用し道路整備を推進する。

(参考)

前年度決算額	351,741
--------	---------

評価結果	維持管理を行う市道の延長および道路施設の増加等に加え、市民の意見を聴く窓口の拡充により、市民ニーズは多様化し、地区要望の件数は年々増加している。社会資本整備総合交付金を効率的に活用するとともに、道路の状態の的確な把握に努め、危険が予想される箇所などの優先順位付けにより年次計画的に実施していく。
------	---

都055	項目名	通学路安全対策事業費
------	-----	------------

主要な施策	地方道路整備交付金事業費	ページ	41
-------	--------------	-----	----

所属名	都市整備部 道路課
-----	--------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	土木費
項	道路橋梁費
目	道路新設改良費

【問合せ先】維持第1係、維持第2係、新設改良係 0857-20-3262、20-3263、20-3254

【9次総の施策体系】3302

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P233（都054）

(単位:千円)

当初予算額	28,860
-------	--------

【事業の概要】  
 通学路の安全を確保するため、関係機関・地域住民により、通学路における危険個所の合同点検・対策必要個所を抽出し、効果的な対策案を検討してきた。今回これらの対策を実施することにより、通学路の安全が一層確実に確保され、安全・安心な道路交通環境に資することができる。

補正予算額	△ 1,441
-------	---------

【事業の成果】  
 通学路安全対策・・・側溝整備・路側帯・路面標示・蓋かけ・防護柵・カーブミラー等の設置

予算流・充用額	1,153
---------	-------

【今後の課題・方向性】  
 交付金を活用し通学路の安全対策を推進する。

最終予算額	28,572
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	27,592
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	15,079
	地方債	9,500
	その他	0
	一般財源	3,013
計	27,592	

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	維持管理を行う市道の延長および道路施設の増加等に加え、通学路の安全をより一層確保するため、社会資本整備総合交付金を効率的に活用するとともに、危険が予想される箇所などの優先順位付けにより年次計画的に実施していく。
------	---

都056	項目名	道路改修事業工事費
------	-----	-----------

主要な施策	道路改修事業費	ページ	41	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	道路橋梁費
目	道路新設改良費

(単位:千円)	
当初予算額	65,200

補正予算額	△ 685
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	64,515
-------	--------

本年度決算額	63,894
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	63,894
計		63,894

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】維持第1係、維持第2係 0857-20-3262、20-3263

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P234（都055）

【事業の概要】  
 小規模な道路や側溝等の改修を行い、道路敷地の有効活用を図るとともに通行者の安全を確保する。

【事業の成果】  
 地区要望等で、小規模な道路改修について緊急性の高いものから実施する。  
 平成23年度 59,584千円  
 平成24年度 63,374千円  
 平成25年度 63,894千円

【今後の課題・方向性】  
 眼に見えるだけのものや発生してからの対応だけでなく、道路の状況を的確に把握し、予防的、計画的に改修を行えるように道路施設情報を把握することが必要である。

(参考)	
前年度決算額	63,374

評価結果	道路環境の改善や道路交通の安全を図るため、迅速かつ適切な修繕を行う必要がある。地域からの要望は多岐にわたり、その解消には適切な順位付けを行い計画的に実施していく。
------	---

都市整備部  
道路課

都057	項目名	交通安全施設事業工事費
------	-----	-------------

主要な施策	交通安全施設事業費	ページ	41	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	道路橋梁費
目	交通安全施設事業費

(単位:千円)	
当初予算額	21,755

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	21,755
-------	--------

本年度決算額	20,018
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	20,018
計	20,018	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】維持第1係、維持第2係 0857-20-3262、20-3263

【9次総の施策体系】3302

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P234（都056）

【事業の概要】  
 自動車、自転車、歩行者等の円滑かつ安全な通行を確保するため、歩道の改良、区画線等路面表示の施工、交通安全施設（ガードレール、誘導ブロック、カーブミラー、反射ポール、デリニエーター）等の設置、修繕を行う。

【事業の成果】  
 区画線等路面表示の施工、交通安全施設（ガードレール、誘導ブロック、カーブミラー、反射ポール、デリニエーター）の設置、修繕  
 平成23年度 33,274千円  
 平成24年度 28,009千円  
 平成25年度 20,018千円

【今後の課題・方向性】  
 現状を把握し計画的に修繕を行う。

(参考)	
前年度決算額	28,009

評価結果	道路の交通安全施設の整備は、通行者の安全向上につながるものである。本事業においては、カーブミラー、反射ポールの設置といった地区要望が多く、要望箇所を比較検討したうえで計画的に実施していく。また、現在は、事故が発生した際の道路管理者の瑕疵、責任が問われるようになっており、交通安全施設の整備の重要性はますます増大していくものと予想される。
------	--

都市整備部  
道路課

都058	項目名	橋梁維持補修費
------	-----	---------

主要な施策	橋梁維持補修費	ページ	41	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	道路橋梁費
目	橋梁維持費

(単位:千円)	
当初予算額	87,700

補正予算額	△ 5,000
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	82,700
-------	--------

本年度決算額	46,559
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	24,123
地方債	19,400
その他	0
一般財源	3,036
計	46,559

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】維持第1係、維持第2係 0857-20-3262、20-3263

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P235（都057）

【事業の概要】  
 橋梁の損傷状況や老朽度合いに応じ策定された「鳥取市道路施設修繕計画」をもとに、国の交付金等を活用し修繕を行い、施設の延命化と費用の平準化を図る。適切な状態で維持・管理することにより、通過交通及び通行者の安全を確保する。

【事業の成果】  
 社会資本整備総合交付金（交付金事業）を活用し、橋梁の補修、橋梁舗装の打換え等を実施する。  
 交付金 大杙線 大杙橋 1橋  
 その他単独事業 1橋

平成25年度 46,559千円  
 （翌年度繰越額 36,140千円）

【今後の課題・方向性】  
 架橋から年数が経過している橋梁の中には、橋梁の架け替えに多額の経費が必要となるため、危険度調査の結果を基に計画的に補修工事を行うことで施設の延命化を図り、費用の平準化を図るとともに大規模な改修が必要なものについては交付金制度を活用して当市の負担を抑えていくことが必要である。

(参考)

前年度決算額	55,046
--------	--------

評価結果	平成18年度に調査を行い、設置から年数が経ち、老朽化、主要構造部の傷みが発生している等、早急に対応や詳細調査の必要があることが確認されている。所管する橋梁数が多いため、一時に対応することは困難であることから、延命化措置が可能なものは延命化を図るといった対応をとっていく。可能な限り事業費の平準化を図るべく計画的に実施していく。
------	---

都市整備部  
道路課

都059	項目名	街路交付金事業費
------	-----	----------

主要な施策	街路事業費	ページ	41
-------	-------	-----	----

所属名	都市整備部 道路課
-----	--------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	都市計画費
目	街路事業費

【問合せ先】新設改良係 0857-20-3254

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P235（都058）

【事業の概要】  
 街路を早急に整備することにより、緊急車両の円滑な進入、緊急時の災害防止、通学の交通安全確保、生活環境の向上等の基礎整備の改善を図る。

【事業の成果】  
 雲山吉成線 事業延長 L=825m

【今後の課題・方向性】  
 社会資本総合整備の整備計画の再編があり、当初、街路雲山吉成線は『P5:街路P(県・市町村)』であったが、再編により『P4:防災・安全(県・市町村)』で行うこととなった。引き続き国の交付金を活用し計画的に事業を実施する必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	30,000
-------	--------

補正予算額	△ 23,702
-------	----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	6,298
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	6,298
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	6,298
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	0
	計	6,298

(参考)

前年度決算額	33,555
--------	--------

評価結果	社会資本総合整備の整備計画の再編はあったが、継続して実施し事業完了を図る。
------	---------------------------------------

都060	項目名	補助災害復旧費
------	-----	---------

主要な施策	現年発生災害復旧費	ページ	49
-------	-----------	-----	----

所属名	都市整備部 道路課
-----	--------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	災害復旧費
項	災害復旧費
目	公共土木災害復旧費

【問合せ先】維持第1係、維持第2係、新設改良係 0857-20-3262、20-3263、20-3254

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 12月補正予算・P44（都011）

【事業の概要】  
 平成25年8月1日、9月4日及び10月15日の豪雨・台風により被災した市道を公共土木災害復旧事業により復旧する。早期の復旧により速やかな交通開放を行う。

【事業の成果】  
 市道雨滝1号線外7路線 18,021千円  
 （翌年度繰越額 3,500千円）

【今後の課題・方向性】  
 補助金等を活用し公共土木災害復旧を行う。

(単位:千円)

当初予算額	0
-------	---

補正予算額	24,194
-------	--------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	24,194
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	18,021
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	7,695
	地方債	4,300
	その他	0
	一般財源	6,026
計	18,021	

(参考)

前年度決算額	859
--------	-----

評価結果	被災した箇所の速やかな復旧を行い、住民の安全性及び利便性の向上を図る。
------	-------------------------------------

都061	項目名	単独災害復旧費
------	-----	---------

主要な施策	現年発生災害復旧費	ページ	49
-------	-----------	-----	----

所属名	都市整備部 道路課
-----	--------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	災害復旧費
項	災害復旧費
目	公共土木災害復旧費

【問合せ先】維持第1係、維持第2係、新設改良係 0857-20-3262、20-3263、20-3254

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 12月補正予算・P44（都012）

【事業の概要】  
 平成25年8月1日及び9月4日の豪雨により被災した市道を公共土木災害復旧事業により復旧する。早期の復旧により速やかな交通開放を行う。

【事業の成果】  
 市道高岡宝殿線外5路線及び緊急対応 12,375千円  
 （翌年度繰越額 2,400千円）

【今後の課題・方向性】  
 起債等を活用し公共土木災害復旧を行う。

(単位:千円)

当初予算額	0
補正予算額	18,376

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	18,376
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	12,375
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	11,700
その他	0
一般財源	675
計	12,375

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	被災した箇所の速やかな復旧を行い、住民の安全性及び利便性の向上を図る。
------	-------------------------------------

都062	項目名	補助災害復旧費
------	-----	---------

主要な施策	過年発生災害復旧費	ページ	49
-------	-----------	-----	----

所属名	都市整備部 道路課
-----	--------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	災害復旧費
項	災害復旧費
目	公共土木災害復旧費

【問合せ先】維持第1係、新設改良係 0857-20-3262、20-3254

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P236（都059）

【事業の概要】  
 平成23年9月の台風により被災した市道を公共土木災害復旧事業により復旧する。早期の復旧により速やかな交通開放を行う。

【事業の成果】  
 市道佐治用瀬線外1路線 57,257千円

【今後の課題・方向性】  
 補助金等を活用し公共土木災害復旧を行う。

(単位:千円)

当初予算額	59,100
-------	--------

補正予算額	△1,842
-------	--------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	57,258
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	57,257
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	35,627
地方債	19,700
その他	0
一般財源	1,930
計	57,257

(参考)

前年度決算額	25,490
--------	--------

評価結果	被災した箇所の速やかな復旧を行い、住民の安全性及び利便性の向上を図る。
------	-------------------------------------

都063	項目名	福祉のまちづくり推進事業費
------	-----	---------------

主要な施策	福祉のまちづくり推進事業費	ページ	40
-------	---------------	-----	----

所属名	都市整備部 建築指導課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	土木費
項	土木管理費
目	建築指導費

【問合せ先】 審査係 0857-20-3281

【9次総の施策体系】 4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P236（都060）

【事業の概要】  
 バリアフリー法及び福祉のまちづくり条例の基準に基づいて整備を行う民間の特定建築物の建築主に対し、整備に要する費用の一部を交付することにより、福祉のまちづくりを推進していく。  
 ・既存建築物のトイレ改造、オストメイト設置、玄関の改修  
 ・新築建築物へのエレベーター設置

○事業費  
 整備に要する費用：10,000千円  
 ・整備に要する費用の1/2を補助

財源内訳  
 国：1/4 2,500千円  
 県：1/8 1,250千円  
 市：1/8 1,250千円

【事業の成果】  
 高齢者、身障者が生きがいを持ちながら生活できる社会の実現。  
 平成24年度4,680千円（1件）  
 平成25年度1,041千円（2件）

【今後の課題・方向性】  
 国の交付金、県の補助金の継続と市予算の確保、所有者への継続指導。

(単位:千円)

当初予算額	5,000
補正予算額	△ 3,600

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,400
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,041
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	778
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	263
計	1,041	

(参考)

前年度決算額	4,680
--------	-------

評価結果	バリアフリーを充実し、高齢者、身障者の生きがいを持ちながら生活できる社会の実現のために継続的に事業を行う必要がある。
------	--

都064	項目名	石綿改修支援事業費
------	-----	-----------

主要な施策	石綿改修支援事業費	ページ	40	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	土木費
項	土木管理費
目	建築指導費

(単位:千円)	
当初予算額	6,500

補正予算額	744
-------	-----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	7,244
-------	-------

本年度決算額	6,794
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	5,951
地方債	0
その他	0
一般財源	843
計	6,794

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】建築指導係 0857-20-3282

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P237（都062）、8月補正予算・P31（都011）

【事業の概要】  
 アスベストの含有調査及び除去等の工事に対して助成事業を行う。  
 ①対象建築物：吹付けアスベスト又はアスベスト含有吹付けロックウールが施工された建築物（他の国の助成を受けていない建築物）  
 ②対象工事：除去、封じ込め、囲い込み  
 建物の除却（アスベスト対策費用を限度としてアスベストを使用している建築物の除却）  
 ①アスベスト工事費：国：1/3、県：3/12、市：1/12  
 ②アスベスト調査費：国：10/10

【事業の成果】  
 ・アスベスト含有調査  
 平成23年度173千円（3件）  
 平成24年度240千円（2件）  
 平成25年度50千円（1件）  
 ・アスベスト除去  
 平成23年度5,720千円（4件）  
 平成24年度5,314千円（3件）  
 平成25年度6,744千円（2件）  
 市民の健康被害の防止及び生活環境の保全に寄与する。

【今後の課題・方向性】  
 国の交付金事業、県の補助事業を活用して安全で安心なまちづくりを推進する。  
 国の交付金、県の補助金の継続と市予算の確保。所有者に対する継続指導。

(参考)

前年度決算額	5,554
--------	-------

評価結果	建築物の延べ床面積「500㎡以上の建物」のアスベスト対策を年次的に行い、平成27年度までに対策を終えるよう努めているところであるが、「500㎡以下の建物」についても計画的に実施する必要があるため、予算措置を行う。
------	--

都市整備部  
 建築指導課

都065	項目名	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費
------	-----	--------------------

主要な施策	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費	ページ	40
-------	--------------------	-----	----

所属名	都市整備部 建築指導課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	土木費
項	土木管理費
目	建築指導費

(単位:千円)	
当初予算額	16,489

補正予算額	8,000
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	24,489
-------	--------

本年度決算額	17,416
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	13,021
地方債	0
その他	0
一般財源	4,395
計	17,416

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】建築指導係 0857-20-3282</p> <p>【9次総の施策体系】3301</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次          当初予算・P238（都063）、8月補正予算・P31（都012）</p> <p>【事業の概要】          震災による被害から市民の生命・財産を保護し、安心安全な生活環境の保全のため、国の交付金と県の補助事業を活用して耐震診断、補強設計、耐震改修を行う建築物の所有者に対して助成を行う。</p> <p>①助成対象者          昭和56年5月31日以前に建築された一戸建て住宅及びその建築物の所有者</p> <p>②事業内容          耐震診断：一戸建て住宅、一般建築物      補強設計：一戸建て住宅          耐震改修：一戸建て住宅</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>耐震診断</th> <th>補強設計</th> <th>耐震改修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23年度</td> <td>11,781千円(76件)</td> <td>1,730千円(11件)</td> <td>1,153千円(3件)</td> </tr> <tr> <td>H24年度</td> <td>6,352千円(44件)</td> <td>5,120千円(32件)</td> <td>4,765千円(5件)</td> </tr> <tr> <td>H25年度</td> <td>5,611千円(31件)</td> <td>1,760千円(11件)</td> <td>10,000千円(10件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>耐震診断、補強設計、耐震改修を実施して市民の安全性の確保を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】          耐震化事業の必要性をPRしながら、国の交付金や県の補助金を活用して耐震化率の向上を図る。</p>		耐震診断	補強設計	耐震改修	H23年度	11,781千円(76件)	1,730千円(11件)	1,153千円(3件)	H24年度	6,352千円(44件)	5,120千円(32件)	4,765千円(5件)	H25年度	5,611千円(31件)	1,760千円(11件)	10,000千円(10件)
	耐震診断	補強設計	耐震改修													
H23年度	11,781千円(76件)	1,730千円(11件)	1,153千円(3件)													
H24年度	6,352千円(44件)	5,120千円(32件)	4,765千円(5件)													
H25年度	5,611千円(31件)	1,760千円(11件)	10,000千円(10件)													

(参考)	
前年度決算額	16,237

評価結果	平成27年度までに耐震化率を90%とする目標を達成するためには、まず耐震診断を実施して建物の現状を把握することが必要不可欠である。 建物の耐震化に対する市民への啓発等を実施して耐震化事業を促進するためにも、耐震診断に係る予算を拡充する必要がある。
------	--

都066	項目名	定期借地権付土地分譲制度活用による地域活性化事業費
------	-----	---------------------------

主要な施策	財産管理費	ページ	24
-------	-------	-----	----

所属名	都市整備部 建築住宅課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	財産管理費

【問合せ先】住宅係 0857-20-3291

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P239（都066）

【事業の概要】  
 青谷町望町団地（所有：鳥取県住宅供給公社）及び鹿野町湯川団地（所有：鳥取市土地開発公社）は、販売実績が低迷しており、こうした状況を好転させるべく、『定期借地権付土地分譲』を導入することで、団地内の街なみの形成が促進され、地域の活性化につなげる。

①販売区画数  
 青谷望町団地22区画・鹿野湯川団地27区画

②定期借地条件  
 用途：借受人が移住する専用又は店舗併用住宅  
 借地期間：51年（借地期間50年＋建物撤去期間1年）  
 借地保証料：100万円  
 （建物撤去後、土地を返還又は購入の場合は無利息で全額返還）  
 貸付賃料：土地価格の約1.5%（年額）（公社から鳥取市が買い上げ借受人に貸付）

【事業の成果】  
 事業実績なし

【今後の課題・方向性】  
 定期借地権付土地分譲制度を公社と共に広くPRし、分譲地の販売促進の向上を図る。

(単位:千円)

当初予算額	15,908
補正予算額	0

予算流・充用額	169
---------	-----

最終予算額	16,077
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	503
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	503
計	503

(参考)

前年度決算額	568
--------	-----

評価結果	販売を促進するため、ターゲットを絞ったPR展開を行う。
------	-----------------------------

都067	項目名	全国建具フェア鳥取大会開催負担金
------	-----	------------------

主要な施策	全国建具フェア鳥取大会開催負担金	ページ	40
-------	------------------	-----	----

所属名	都市整備部 建築住宅課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	土木管理費
目	土木総務費

(単位:千円)	
当初予算額	1,000

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,000
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,000
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,000
計	1,000	

【問合せ先】住宅係 0857-20-3291

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P240（都067）

【事業の概要】  
 全国建具業者が一同に会する『全国建具フェア鳥取大会』開催支援  
 主催：全国建具組合連合会  
 開催期間：平成25年6月21日～23日  
 開催場所：鳥取県立産業体育館

【事業の成果】  
 鳥取市の地場産業及び観光資源を全国発信することで、地域経済の活性化に寄与した。

【今後の課題・方向性】  
 平成25年度で終了

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	平成25年度で終了。
------	------------

都068	項目名	施設管理業務委託モデル事業費
------	-----	----------------

主要な施策	住宅維持補修費	ページ	42	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	住宅費
目	住宅管理費

(単位:千円)	
当初予算額	25,452

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	25,452
-------	--------

本年度決算額	20,517
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	20,517
	一般財源	0
計		20,517

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	20,517
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】住宅係 0857-20-3291  
【9次総の施策体系】4201  
【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P240（都068）

【事業の概要】  
市営住宅の施設管理業務を民間の賃貸住宅管理会社にモデル的に委託し、民間の有するノウハウを活用する中で、より適切な対応を図り住民サービス向上を目指す。

①委託戸数  
平成23～24年度 392戸  
平成25～27年度 840戸（全体管理戸数の約1/3）

②委託業務内容  
ア、施設管理業務対応（緊急、一般、入居修繕）イ、法定点検等の義務がある施設の点検業務 ウ、害虫駆除・樹木剪定業務 エ、苦情相談対応業務 オ、定期的な巡回点検業務カ、防火管理者に関する業務 キ、その他団地の状況に応じて特に定めるもの

③受託の条件等  
ア、本社及び営業所等の所在地が市内にあること イ、管理実績戸数等 ウ、2年間の長期継続契約 エ、24時間365日の緊急対応体制

【事業の成果】  
本市は市営住宅 43団地 2,161戸、管理代行県営住宅 13団地 245戸を管理している。近年、施設管理業務の占める割合が増大し、必ずしも迅速な対応が困難な状況であった。そのため、平成23年度から施設管理業務委託モデル事業として、本市管理の市営住宅5団地840戸の委託を実施。住民サービスの向上を図った。

【今後の課題・方向性】  
問題点や課題等を検証した上で、全戸委託或いは指定管理者制度等への移行の可能性を含め、今後の市営住宅管理のあり方を検討する。

(参考)	
前年度決算額	11,637

評価結果	問題点や課題等を検証し、市営住宅管理のあり方を検討する。
------	------------------------------

都市整備部  
建築住宅課

都069	項目名	東日本大震災支援対策費
------	-----	-------------

主要な施策	住宅維持補修費	ページ	42
-------	---------	-----	----

所属名	都市整備部 建築住宅課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	住宅費
目	住宅管理費

【問合せ先】住宅係 0857-20-3291

【9次総の施策体系】3301

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P241（都069）

【事業の概要】  
 東日本大震災により、住宅を失った方、原子力発電所事故による避難指示により緊急に住宅からの避難を余儀なくされている方に臨時的に市営住宅を提供することにより、避難者の生活再建及び生活の安定向上を図る。

【事業の成果】  
 平成25年度末現在の受入世帯数  
 6世帯（13人）

【今後の課題・方向性】  
 国・県の方針に従い、受入期間を3年間から4年間へと延長した。

（単位：千円）	
当初予算額	2,000

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,000
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	36
--------	----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	36
	計	36

(参考)	
前年度決算額	1,158

評価結果	引き続き、被災者の生活再建及び居住の安定を図る。
------	--------------------------

都070	項目名	市営住宅水道料金各戸計量・徴収モデル事業費
------	-----	-----------------------

主要な施策	住宅管理事務費	ページ	42
-------	---------	-----	----

所属名	都市整備部 建築住宅課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	土木費
項	住宅費
目	住宅管理費

【問合せ先】住宅係 0857-20-3291

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P241（都070）

【事業の概要】  
 受水槽方式の市営住宅では、住民から水道管理人を選任し、この管理人が各戸の子メーターを計量、料金を徴収のうえ一括して水道局に支払う方式をとっている。  
 しかし、団地住民の高齢化等によりこの制度自体が機能不全に向かっており、新しい仕組みづくりが求められている。水道局が直接に各戸計量・徴収を行う制度をモデル的に実施し、事業実施に伴う問題点や課題を検証する中で今後のあり方を検討していく。

①実施規模  
 受水槽方式を採用する市営住宅のうち、1親メーターで区切られる団地（又は棟）で実施する。

②実施内容  
 水道局は水道管理人への一括請求に替え、直接各戸の子メーターを計量し料金を戸別に徴収する。

【事業の成果】  
 賀露団地7棟及び8棟において実施。

【今後の課題・方向性】  
 問題点・課題を整理し、今後の展開（方向性）を決定する。

(単位:千円)

当初予算額	130
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	130
本年度決算額	20

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	20
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	20
一般財源	0
計	20

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	問題点・課題を整理し、今後の展開につなげる。
------	------------------------

都071	項目名	住宅小規模リフォーム助成事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	民間住宅整備支援費	ページ	42	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計	
款	土木費	
項	住宅費	
目	住宅管理費	

(単位:千円)	
当初予算額	20,000

補正予算額	△ 231
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	19,769
-------	--------

本年度決算額	19,092
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	2,599
地方債	0
その他	0
一般財源	16,493
計	19,092

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】住宅係 0857-20-3291  
【9次総の施策体系】4204  
【予算計上の経過】  
当初予算・P242（都071）

【事業の概要】  
生活の基盤となる住環境の整備は、定住化促進のための重要な要素であるが、景気の低迷で住環境の整備は進んでいるとは言えない状況にある。また、地域経済の低迷が続く中で、活性化に向けた取り組みが求められている。  
そこで、市民が市内の施工業者を利用して、個人住宅のリフォームを行う場合に、その経費の一部を助成する。  
・市内の施工業者を利用すること  
・工事費が20万以上のもの  
・助成金の交付決定後に着手し、平成26年3月31日までに工事が完了するもの  
・助成工事に係る経費の10%（上限20万円、千円未満の端数切捨て）  
※ただし、次に該当する場合には上限30万円。  
①満18歳未満の子どもを養育する世帯（子育て世帯）  
②同一世帯に高齢者又は障がい者が居住している世帯

【事業の成果】  
居住環境の向上と地域経済の活性化を図った。  
※過去2年間の助成実績  
平成24年度 応募件数 263件 助成決定件数 116件  
平成25年度 応募件数 220件 助成決定件数 105件

【今後の課題・方向性】  
平成24年度～平成26年度の3年間としているが、その後の取扱いについては、経済状況及び財政状況等を勘案して検討するものとする。

(参考)	
前年度決算額	18,769

評価結果	居住環境の向上と地域経済の活性化を図る。
------	----------------------

所属名	都市整備部 建築住宅課
-----	----------------

都072	項目名	賀露団地ストック総合改善事業工事費
------	-----	-------------------

主要な施策	ストック総合改善事業費	ページ	42
-------	-------------	-----	----

所属名	都市整備部 建築住宅課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	土木費
項	住宅費
目	公営住宅建設費

【問合せ先】住宅建設係 0857-20-3294  
 【9次総の施策体系】4201  
 【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P242（都072）  
 【事業の概要】  
 賀露団地R棟の老朽化に伴いストック改善を行い、高齢者などの安全や利便にも配慮した住宅にリフォームする。  
 平成20年度  
 R1棟改善工事実施設計  
 平成21年度  
 R1棟（中層耐火4階建15戸）改善工事  
 R2棟改善工事実施設計  
 平成22年度  
 R2棟（中層耐火4階建16戸）改善工事  
 R3棟改善工事実施設計  
 平成23年度  
 R3棟（中層耐火4階建16戸）改善工事  
 R5棟改善工事実施設計  
 平成24年度  
 R5棟（中層耐火4階建16戸）改善工事  
 R6棟改善工事実施設計  
 平成25年度（平成24年度から平成25年度へ繰越）  
 R6棟（中層耐火4階建12戸）改善工事  
 【事業の成果】  
 居住環境の改善を図るとともに、新規入居者への公営住宅の供給量を増やした。  
 【今後の課題・方向性】  
 平成25年度に賀露団地R棟全体の改善事業完了。

(単位:千円)

当初予算額	2,240
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	2,240
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	2,240
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	2,240
地方債	0
その他	0
一般財源	0
計	2,240

(参考)

前年度決算額	201,975
--------	---------

評価結果	平成25年度で事業完了。
------	--------------

都073	項目名	駅南団地ストック総合改善事業工事費(地域の元気臨時交付金活用事業費)
------	-----	------------------------------------

主要な施策	ストック総合改善事業費	ページ	42
-------	-------------	-----	----

所属名	都市整備部 建築住宅課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	一般会計
款	土木費
項	住宅費
目	公営住宅建設費

(単位:千円)	
当初予算額	8,000

補正予算額	△ 600
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	7,400
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	6,877
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	6,310
地方債	500
その他	0
一般財源	67
計	6,877

【問合せ先】住宅係 0857-20-3291

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P243 (都073)

【事業の概要】  
 駅南団地の老朽化に伴いストック改善を行い、高齢者などの安全や利便にも配慮した住宅にリフォームすることにより居住環境の改善を図る。  
 平成25年度  
 1棟改善工事実施設計  
 平成26年度  
 1棟(中層耐火4階建14戸)改善工事完成予定  
 2棟改善工事実施設計  
 平成27年度  
 2棟(中層耐火4階建21戸)改善工事完成予定

【事業の成果】  
 1棟改善工事実施設計完了

【今後の課題・方向性】  
 ストック改善の実施により、居住環境の改善を図る。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	引き続き、居住環境の改善を図る。
------	------------------

都074	項目名	古海団地下水道接続工事費
------	-----	--------------

主要な施策	ストック総合改善事業費	ページ	42
-------	-------------	-----	----

所属名	都市整備部 建築住宅課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	住宅費
目	公営住宅建設費

【問合せ先】住宅係 0857-20-3291

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P243（都074）

【事業の概要】  
 平成22年度に終了した下水道整備に伴い、現在の浄化槽を撤去し下水道へ接続する。

【事業の成果】  
 下水接続工事費を実施し、居住環境の向上を図った。

【今後の課題・方向性】  
 平成25年度で事業完了。

(単位:千円)

当初予算額	1,365
-------	-------

補正予算額	△ 800
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	565
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	525
--------	-----

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	250
	地方債	200
	その他	0
	一般財源	75
計		525

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	平成25年度で事業完了。
------	--------------

都075	項目名	湖山団地内広場等整備工事費
------	-----	---------------

主要な施策	公営住宅等住環境整備事業費	ページ	42
-------	---------------	-----	----

所属名	都市整備部 建築住宅課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	土木費
項	住宅費
目	公営住宅建設費

(単位:千円)	
当初予算額	8,800

補正予算額	△ 687
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	8,113
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	7,729
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	2,911
地方債	4,300
その他	0
一般財源	518
計	7,729

【問合せ先】住宅係 0857-20-3291

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P244（都075）

【事業の概要】  
 湖山団地7棟周辺の市道整備が本年度終了することに伴い、7棟周辺の整備を行う。  
 児童遊園・駐車場・団地出入り口周辺整備

【事業の成果】  
 周辺整備を実施し、居住環境の向上を図った。

【今後の課題・方向性】  
 平成25年度で事業完了。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	平成25年度で事業完了。
------	--------------